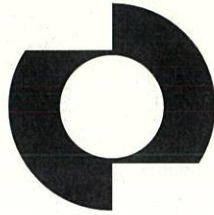


令和 6 年度

教育計画

出雲崎町教育委員会



町章

(昭和41年6月20日制定)

出雲崎町の「い」を円に沿って図案化したもので、
回転・力動・躍進を表したものです。

出雲崎町民憲章

わたくしたち出雲崎町民は、
日本海と小木の城に代表される
美しい自然と豊かな歴史のふる
さと出雲崎町に誇りをもち、そ
の限らない躍進に願いをこめて
この町民憲章を定めます。

一、青い海、

緑の山の恵みに感謝し、
美しい町をつくりましょう。

一、伝統をはぐくみ、

文化の香り高い町を
つくりましょう。

一、働くことを喜び、

生き生きとした町を
つくりましょう。

一、健やかな心と体を鍛え、

明るい町を
つくりましょう。

一、良寛のこころを心として、

思いやりのある町を
つくりましょう。

昭和六十二年六月二十日制定



町の木 けやき

町内に銘木も多く、特に小木ノ城のけやきは、
古くから郷土の象徴として親しまれています。
いかなる環境にも耐え抜く旺盛な生育力があり、
町のシンボルにふさわしいとして、町の木に定め
られました。



町の花 赤坂つつじ

「つつじ」は四季を通じて花葉を觀賞することが
でき、育てやすく庶民的な花木で知られています。
特にこのつつじは、乙茂の赤坂山附近に群生し
ており、他地域ではあまり生育しないことから
「赤坂つつじ」(和名：ユキグニミツバツツジ)
として、町の花に定められました。

目 次

はじめに	出雲崎町教育委員会教育長 曾根 乗知	
I 出雲崎町のすがた		
1 位 置		1
2 気 象		2
3 歴 史		2
II 第6次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想 及び基本目標について		
1 学校教育		3
2 公民館		4
3 図書館		4
4 歴史・文化		4
5 運動・スポーツ		5
III 町教育の基本目標と施策の方向性及び令和6年度の主な事業		6
IV 教育行政全般について		8
1 公民館について		8
2 図書館について		10
3 良寛記念館について		10
4 文化財行政について		11
5 社会体育について		13
V 出雲崎町学校教育計画		
1 出雲崎町が目指す学校教育の姿		16
2 出雲崎町の学校教育の基本的な理念		17
3 学校及び家庭・地域の具体的な取組		18
4 出雲崎町の幼・保、小・中連携による教育		19
5 9年間を見通した出雲崎町の学校教育計画		21
6 出雲崎の学校教育9年間の指導系統図		22
VI 各校教育計画の大綱		
出雲崎小学校		23
出雲崎中学校		29
教育委員会関係役職員名簿		35
出雲崎町教育関係施設		38

令和の生涯学習社会の実現Ⅱ

出雲崎町教育委員会 教育長 曾根 乗知

今年度は、第3次出雲崎町生涯学習推進計画（令和3年度～令和8年度）の4年目になります。出雲崎町生涯学習の基本目標は、「学びの楽しさ 心の豊かさで 生きがいのもてるまちづくり」です。町民の誰もが、いつでも、どこでも、自分らしく主体的に学習することができ、楽しみや生きがいの発見等につながるよう生涯学習を推進していきます。

1 学校教育

重点「望ましい人間関係構築からの学力向上」

- ・児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう、すべての教科等で、見通し・振り返りの学習活動を取り入れるなど、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりに全校体制で取り組みます。
- ・他者への理解を深め、集団における人間関係をよりよく形成することができるよう、授業や学級活動、児童会・生徒会活動で関わり合いを大切にし、児童生徒主体の活動を推進します。

主体的・対話的で深い学びの実現

(1) 個別最適な学び

- ア 指導の個別化 一定の目標を全ての子どもが達成することを目指し、異なる方法等で学習を進めます。
- イ 学習の個性化 異なる目標に向けて、学習を深め、広げます。

(2) 協働的な学び

- ア 学校ならではの学び合い、探究的な学びを充実し、多様な他者との協働を通して異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出すことができるようにします。
- イ ICTを思考と表現の媒介として活用（最適な組み合わせ）します。

(3) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

個別最適な学びの成果を協働的な学びに生かし、さらにその成果を個別最適な学びに還元するなど、一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげます。

(4) 指導と評価の一体化

目指す資質・能力が確実に育成されるよう、学習の過程や成果を的確にとらえ、一緒に解決に向かうなど、教師の指導改善と児童生徒の学習改善に取り組みます。

いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成

(1) 道徳教育

思いやりをもち、自己や他者、社会にとってよりよい判断ができるよう、ねらいに即した多様な指導方法を取り入れます。

(2) 人権教育、同和教育

差別を許さず、自他を大切にして行動できるよう、「生きる」を活用するなど、同和教育を中核とした人権教育を推進します。

2 社会教育

重点「学んだことを活かすことで、さらなる学びに発展させる」

オンラインと対面とのバランスを重視し、学びの選択肢を増やす

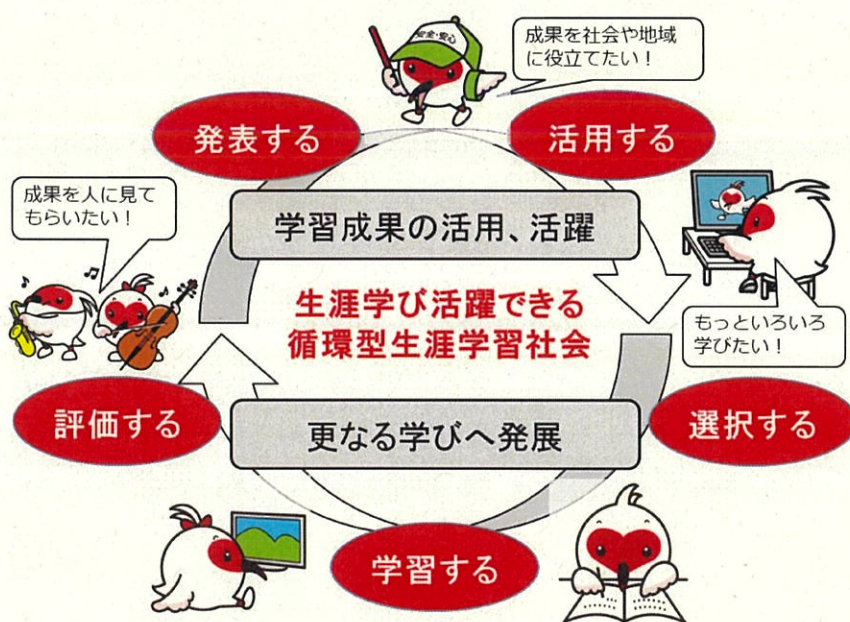
学びの始まりは選択。コロナ禍で得たものの一つ「オンライン」研修が、この選択を広げてくれました。「オンライン」か「対面」の選択はもちろん、遠隔地からも受講が可能となったり、時間の都合がつかなくてもオンデマンドで学べたり、学習内容を改善すれば若者が生涯学習に加わったりする可能性も秘めています。「だれでも・いつでも・どこでも」学べるという、生涯学習の理念を実現します。

「活用」機会を体系化し、その成果を数値等で見える化する

学んで終わりではなく、そのあとは「活用」。学びの成果を地域や学校のために活かし、人生100年時代を生き、多くの人が活躍できる「循環型生涯学習社会」を目指します。また、どれくらいの人が活かしているかを数値等で見える化し、その成果を発信していきます。これらのことで、学習成果を活かし適切に評価されるという、生涯学習の理念に近づけます。

活力あるコミュニティ形成のための人材育成を充実させる

活力あるコミュニティの形成には、魅力ある人づくり、人材育成が欠かせません。「学んだ人が、学ぶ人を育てる」循環型の人材育成は、活力あるコミュニティ形成の核となります。公民館の運営、図書館の運営を含めた社会教育の中で、人と人をつなげ、循環型の人材育成の視点から、人材育成を充実させていきます。



私たちは、子どもたちに持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成するとともに、充実した学校教育・社会教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を、学校や家庭、地域社会と共有して実現していくことが重要です。

子どもたち一人一人のウェルビーイング（協調的な幸せ）が、家庭や地域社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来に渡って世代を超えて循環していくという姿の実現を目指していきます。

I 出雲崎町のすがた

1 位 置

本町は、新潟県のほぼ中央に位置し、南東部を長岡市、南西部を柏崎市に接し、北西部は約9kmにおよぶ海岸線を有し、佐渡と相對しています。

町の総面積は44.38km²で、このうち山林面積が約69.1%を占めています。町の中央部には二級河川島崎川が南北に流れ、樹枝状に伸びる支流に沿って帯状の耕地が点在しています。

集落は、1次生活圏*1として海岸地区及び駅前地区があり、海岸地区では国道352号及び国道402号に沿って約3.6kmにわたり帯状に住宅地が形成されています。

また、駅前地区は中央部をJR越後線及び国道116号が町内を縦貫しており、出雲崎駅及び小木ノ城駅周辺に住宅地が形成されています。その他の集落は、樹枝状の沢々に点在しています。

上越新幹線及び北陸・関越両自動車道の開通により、関東圏に最も近い日本海側の町として、観光資源などを生かした魅力ある地域となっています。

*1：生活圏とは、地域を階層的な圏域（1次、2次、地方）に区分したもので、次の基準で示されることが一般的です。

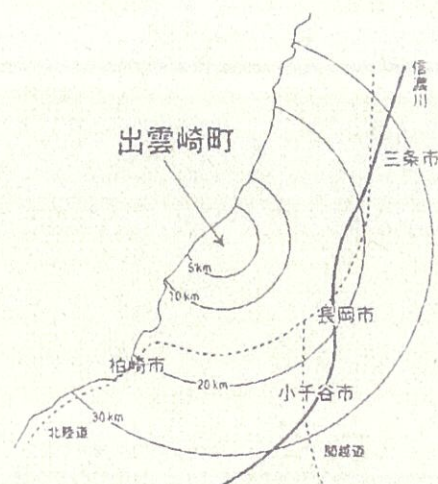
1次生活圏…役場、集会所、小学校などの施設を持ち、半径4～6km程度の範囲

2次生活圏…高度の買い物ができる商店街や高等学校などを持ち、半径6～10km程度の範囲

地方生活圏…総合病院、各種学校、中央市場などを持つ。いくつかの2次生活圏から構成され、範囲は20～30km程度の範囲

周辺（30km圏）の市町村

区 分	市町村（旧名）
10km圏内	長岡市（与板町・三島町・和島村）、 柏崎市（西山町）
20km圏内	長岡市（長岡市・越路町・中之島町・ 寺泊町）、見附市、柏崎市、刈羽村、 燕市（分水町）、三条市（栄町）、弥彦 村
30km圏内	小千谷市、長岡市（栃尾市・小国町・ 山古志村・川口町）、燕市（燕市・吉 田町）、三条市（三条市・下田村）、新 潟市（巻町・岩室村・中之口村）



2 気 象

本町の気象は、冬期は冬型の気圧配置が影響して、海岸部では北西の季節風が強く、内陸部に入るにしたがって弱くなっています。令和元年から令和 5 年までの 5 年間の平均最大降雪量は 54.2cm、平均最大積雪深は 61.6cm と新潟県内においては比較的少ない地域です。平均気温は 15.1℃、平均降水量は 2,098mm となっています。

過去 5 年間の気象状況（建設課）

項目 年次	気温（℃）			降水量 （mm）	最大降雪量 （cm）	最大積雪深 （cm）
	平均	最高	最低			
令和元年	15.1	37.2	－1.9	1,934	17	17
令和 2 年	15.0	35.7	－4.0	2,201	28	28
令和 3 年	14.9	36.9	－4.0	2,307	125	132
令和 4 年	14.8	34.7	－2.8	2,013	60	67
令和 5 年度	15.8	37.5	－5.9	2,036	41	64

（観測場所：出雲崎町役場）

3 歴 史

本町の海岸地区は、神話時代に大国主命によって開拓されたと伝えられ、天正 17 年（1589 年）に上杉景勝の陣屋が設けられたほか、元和 2 年（1616 年）には江戸幕府 7 万石支配の代官所が置かれるなど、古くから佐渡への渡海の津として栄えました。

また、明治時代にはわが国初の石油の機械掘りに成功し、石油産業発祥の地として脚光を浴びました。

一方、内陸部の駅前地区は、古くは南北朝時代の小木氏や戦国時代の上杉謙信の活躍により、古戦場や小木ノ城山に代表される城跡などの史跡も残されており、戦前は教育の村として先人の功績も大きく受け継がれています。

本町の沿革は、明治 22 年の町村合併で、出雲崎町・尼瀬町・西越村・中越村・八手村の 2 町 3 村が誕生し、明治 34 年に西越村・中越村・八手村が合併して西越村となり、次いで明治 37 年に西越村と出雲崎町が合併して出雲崎町となりました。

さらに、昭和 32 年 6 月 20 日に西越村と出雲崎町が合併して、出雲崎町となり町政を施行し、翌年大字高畑が和島村（現長岡市）へ移り、今日に至っています。

Ⅱ 第6次出雲崎町総合計画における教育関係の基本構想 及び基本目標について

◎基本目標（令和4年度～令和12年度）

夢を育み、誇りある歴史、文化を継承するまちづくり

1 学校教育

これからの学校には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

そのためには、すべての児童生徒が安心・安全の中で質の高い教育を受けることができる環境の整備を進め、確かな学力を身に付け、豊かな心を育む教育内容や学習機会を充実させていく必要があります。

学習指導要領では、児童生徒の発達段階や特性等を踏まえ、資質・能力の3つの柱である「知識及び技能」の習得と「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現することで、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことができるとしています。

こうした社会の要請に応えるために、「良寛学習」を中核に、当町の伝統ある歴史や文化を学校の学びに大胆に取り入れ、質の高い教育内容の創造に向けて総合的な支援を進めてまいります。

【施策の方針】

- ① 保育園・こども園、小学校、中学校の連携が十分に進み、一貫した指導体制の下、子どもたちが健やかに成長していける環境を整備します。
- ② 児童生徒が出雲崎町の歴史や文化、産業を学ぶことができる教育人材の確保や教育資源の整備に努め、学校の質の高い学びを支援します。
- ③ 学校行事と地域行事の関連性を図り、地域と共に歩む特色ある学校づくりを推進していきます。
- ④ ICT環境の整備を図り、個別最適な学びが充実するよう支援します。
- ⑤ 質の高い学びを平等に受けることができるように、奨学金制度の充実を図ると共に、高等学校通学生徒の通学費を助成し保護者の負担軽減に努めます。

2 公民館

超高齢化社会、家庭教育の困難化、情報環境の変化、社会のつながりの希薄化など私たちを取りまく社会状況は大きく変化しています。こうした状況において、生涯学習を通じて自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が新たな未来の担い手となる生涯学習社会の実現が求められています。

町民の誰もが、いつでも、どこでも、生涯を通じて自分らしく主体的に学習に関わることができ、しかも、自身の楽しみや生きがいの発見等につながるように生涯学習を推進していきます。さらに、地域の課題解決のために、仲間とかかわりながら、学んだことを活かして活躍できる町。学んだことを活かすことで、さらなる学びへと発展させていく「循環型生涯学習社会」を目指していきます。

【施策の方針】

- ① ライフステージ(乳幼児期から高齢期まで)に応じた学習機会の提供をはじめ、ニーズや時代に対応した講座の充実を図ります。
- ② 町民が生涯を通じて学びを重ねることができ、町民の誰もがいつでも、どこでも、いくつになっても、学ぶことのできる環境を目指します。そのために、生涯学習に関する様々な情報の提供、学習活動に対する相談機能の充実、学習活動の場の整備など町民の主体的な学びを支える環境整備を目指します。
- ③ 生涯学習社会を実現するためには、町民一人ひとりが学習した成果を地域社会で活かすことが必要となります。それぞれが学んだ知識や経験を、地域の課題解決やまちづくりなどに活かすことは、生きがいや自己実現につながり、また町民同志の交流も育み、活気あるまちづくりにつながることから、人材育成や学習成果を活かせる活動を進めます。

3 図書館

出雲崎町の図書館は、1911年(明治44年)に創設され、現在は海岸公民館内の図書館と中央公民館の図書室の2か所で運営しています。

地域の方々が楽しく読書をすることができる場として、また、町民の方々の多様な学習の機会を提供する場としての環境整備の推進に努めます。

4 歴史・文化

町民が、町の歴史や文化に理解と関心を持ち、潤いに満ちた個性豊かな地域文化の振興を推進していかなければなりません。

本町は、多くの貴重な歴史・文化を保有し、併せて、豊かな自然があります。それらに誇りを持ち、感性豊かで、特色ある歴史・文化のまちの創造を図ることが大切です。

特に海岸地区は約3.6 kmにわたり、江戸時代から続く妻入りの街並みが建ち並び、全国的にも注目を集めています。特に、日本遺産に認定された北前船文化を発信することで、町民の文化財保護意識の高揚を図るとともに伝統文化の継承に努めます。

そのため、町の歴史・文化・芸術等が維持発展できるよう支援、振興を図っていきます。

【施策の方針】

- ① 由緒ある歴史施設や伝統ある文化芸術に接する機会を提供し、精神的な豊かさを体得できるよう努めます。
- ② 芸術・地域伝統文化活動への参加を促し、その成果を発表する機会の充実を図ります。
- ③ 芸術文化団体の活動に対して、支援などの条件整備を図ります。
- ④ 日本遺産に認定された妻入りの街並み等の保全と環境整備に努めます。
- ⑤ 特色ある地域の文化遺産や民俗・風習等を集約し、出雲崎町の「宝もの」として、魅力ある町づくりに役立てていきます。
- ⑥ 良寛記念館では、良寛の道徳を永く後世に引き継ぐことが重要であり、“良寛生誕の地”である出雲崎町の情報発信を図り、町民の郷土に対する認識を深める学術文化の向上を図ります。

5 運動・スポーツ

人間の恒久的な願いは、健康でありたいと思う心です。生涯、健康を維持する観点から、みんなが体力や年齢等に応じて、「いつでも・どこでも・いつまでも」の精神を持って体を動かし、運動・スポーツに親しむことができる地域社会の実現が重要です。

町民一人一人の健康の維持、増進に対応するとともに、食事を含めた生活習慣の改善をはじめ、完備された運動施設を活用するなど、運動習慣の定着を図ります。

さらに町民が健康で、心身ともに明るく、楽しく日々の生活が送れるよう、運動・スポーツ全般にわたり、その振興を推進していきます。

【施策の方針】

- ① 町民の健康づくりのため、計画的な各種スポーツ事業を推進します。
- ② 各年代の体力に合わせた特徴的な運動・スポーツの提供や指導などの環境整備を図っていきます。
- ③ 健康施策を体系化しながら、家庭・地域・各種関係団体の関係者間の連携強化を推進します。



町民登山



ファミリースキー

Ⅲ 町教育の基本目標と施策の方向性及び令和6年度の主な事業

基本目標	基本項目	施策の方向性
夢を育み、誇りある歴史、文化を継承するまちづくり	1 学校教育	(1)保育園・こども園、小学校、中学校の連携が十分に進み、一貫した指導体制のもと子どもたちが健やかに成長していける環境を整備する (2)児童生徒が出雲崎町の歴史や文化、産業を学ぶことができる教育人材の確保や教育資源の整備に努め、学校の質の高い学びを支援する (3)学校行事と地域行事の関連性を図り、地域と共に歩む特色ある学校づくりを推進する (4)ICT環境の整備を図り、個別最適な学びが充実するよう支援する (5)質の高い学びを平等に受けることができるように、奨学金制度の充実を図ると共に、高等学校通学生徒の通学費を助成し保護者の負担軽減に努める
	公民館	(1)ライフステージ(乳幼児期から高齢期まで)に応じた学習機会の提供をはじめ、ニーズや時代に対応した講座の充実を図る (2)生涯学習に関する様々な情報の提供、学習活動に対する相談機能の充実、学習活動の場の整備など町民の主体的な学びを支える環境整備を目指す (3)町民一人ひとりが学んだ知識や経験を地域社会で活かすことができる活動を進める
	図書館	(1)本を介して親と子がふれあう機会を提供する (2)図書館の活用と蔵書の充実・整理
	2 社会教育	(1)良寛に関する歴史、民俗、美術品等の収集、保管および展示 (2)良寛関係の資料等の調査及び研究 (3)講演会、研究会等の開催、参加 (4)良寛記念館応援倶楽部てまりの会との協力
	歴史・文化	(1)由緒ある歴史施設や伝統ある文化芸術に接する機会を提供し、精神的な豊かさを体得できるよう努める (2)芸術・地域伝統文化活動への参加を促し、その成果を発表する機会の充実を図る (3)文化芸術団体の活動に対して、支援などの条件整備を図る (4)文化財の保護とその活用 (5)妻入りの街並み保全と環境整備 (6)特色ある地域の文化遺産や民俗・風習等を集約し、出雲崎町の「宝もの」として、魅力ある町づくりに役立てていく
	運動・スポーツ	(1)町民の健康づくりのため、計画的な各種スポーツ事業を推進 (2)各年代の体力に合わせた特徴的な運動・スポーツの提供や指導などの環境整備を図る (3)各種のスポーツ大会の開催を通じて、スポーツに親しみながら、健康の増進や、地域、職場やグループの交流、連携の育成に役立てる (4)広域圏や体育協会等のスポーツ団体の活動を支援して、相互協力を図る (5)スポーツ推進委員活動の充実 (6)多目的運動場を活用したスポーツ事業の推進
	3 施設の整備充実	(1)学校教育施設の整備充実 (2)社会教育施設の整備充実 (3)社会体育施設の整備充実 (4)良寛記念館の整備充実

令和6年度の主な事業等

- ・就学支援教育相談 ・教育支援委員会による個々にあった就学先の検討
- ・学校支援地域本部事業 コーディネーターやボランティアの養成・活用、スクールガード(下校時の一斉防災無線放送)
- ・奨学金貸与事業 ・小中連携強化 ・小中学校入学祝金支給 ・要保護児童生徒巡回指導
- ・ICT機器の活用 ・小学生俳句教室 ・良寛さんの心書道展 ・小学校理科支援員の設置
- ・特別支援教育の推進 ・いじめ、体罰、不登校等の対応強化 ・いじめ見逃しゼロ運動
- ・通学バス運行 ・通学路の安全確保 ・キャリア教育の充実 ・防災教育の充実
- ・良寛学習(小中校連携して9年間実施) ・部活動地域移行

- ・青少年教育事業 幼、少年を持つ親に対して学習の場を提供するとともに、少年期においては、学校教育と連携しながら、仲間づくりや自然とのふれあいの機会を通した人間関係の育成に努める
- ・一般教育事業 成人大学として良寛に関する学習をするほか、生涯学習講座として総合大学を実施するとともに各種教室を開設する
- ・文化活動 町内の文化活動を行っている関係諸団体と連携し、文化創作発表などを推進
- ・学校地域本部事業活動において、学校とコーディネーターや家庭・地域のボランティアの連携を図る
- ・公設学習塾運営事業 中学生が、自知的的好奇心を高め、学び、考え続ける力を鍛え、深い教養を身に付ける場として公設学習塾を設置する

- ・図書館運営事業 幼児期に親子で本に親しむ機会をつくる「ブックスタート」や、親子文庫による子どもたちの読書活動への支援事業の実施
- ・図書館の蔵書の充実
- ・蔵書、新刊図書のデータ化作業の継続と町立図書館(海岸公民館と併設)と中央公民館(図書室)の利便性の向上を図る
- ・他施設と連携しての読書支援活動

- ・良寛記念館の譲渡を受け、『出雲崎町で生まれ育った良寛の遺墨や関連資料は、出雲崎町の貴重な財産であり、これらを良寛の遺徳とともに 永く後世に引き継ぐことが重要である』ことから、町内外に“良寛生誕の地である出雲崎”を情報発信する
- ・良寛を通じて町民の郷土に対する認識を深め教育、学術文化の向上を図る

- ・町内の文化活動を行っている関係諸団体と連携し、文化創作発表を推進
- ・公民館文化サークル育成事業 サークル活動を通して技能の向上と仲間づくりなど、生涯学習の基礎づくりをする(公民館文化サークル 書道、ガーデニング、英会話)
- ・町内の文化財の周知と保護の意識の向上及び適正な管理保存
- ・文化財保護団体の保護活動への補助
- ・妻入りの街並景観推進協議会の活動支援と妻入りの街並み景観の保存と活用
- ・街並活性研究会と連携し、東京芸大生による街並みのスケッチ画を継続的に残す等の事業を行い、出雲崎を町内外にアピールする
- ・探そう！生かそう！伝えよう！をテーマに町民から地域の「宝もの」を発見してもらい、それらを調査・活用していくことで、町民の視点で町の良さを町内外に発信する
- ・北前船日本遺産の推進
- ・町家展示施設の管理

- ・わくわく水泳教室 ・小学生スポーツチャレンジ教室 ・テニス教室
- ・さわやかスポーツ教室 ・トレーニング教室 ・ストレッチボール教室
- ・スキー&スノーボード ・町民ウォーキング
- ・町民バレーボール大会 ・町内ゲートボール大会 ・町民卓球大会
- ・町民ソフトバレーボール大会 ・屋内ゲートボール大会 ・町民バドミントン大会 ・町民登山
- ・柳津町・出雲崎町姉妹都市交流事業(青年野球・ソフトバレーボール)【体育協会共催】
- ・出雲崎町近郷ゲートボール大会【体育協会共催】
- ・スポーツ推進委員活動の支援と各種研修会への参加 ・スポーツマイレージ事業

Ⅳ 教育行政全般について

教育において社会的に問題化されている命に関わるいじめや体罰は避けられない課題です。本年度は、今までの課題の解消に向けてより充実した活動を推進していきます。子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中、個を伸ばす教育を推進し、「生きる力」を育み学ぶ意欲を重視した確かな学力の育成及び倫理観や人間性豊かな心の育成に努めます。

そこで、学校（間）・家庭・地域の連携を進めながら、子どもたち一人一人が自覚を持って、「学ぶ意欲」を高めることができる活動や学習環境を整備していきます。学校教育は、学校だけにまかせるものではありません。教育委員会も積極的にに関わり、各分野で支援して参ります。

また、社会教育・社会体育活動においても、本町の充実した施設を活用して、地域特色を生かした取り組みで事業を実施します。町民みんなが、生き生きとした日々の暮らしの中でお互いに学び合い、健康で明るいまちづくりの社会形成ができるような施策を展開していきます。

そして、人権教育、同和教育の推進については、人権に関する理解を深め、すべての人々の人権を尊重し、互いの大切さを認め合う態度や行動力を児童生徒に身に付けてもらう教育を推進していきます。

➤教育費の概要（本年度当初予算）

一般会計全体 3, 6 3 5, 0 0 0 千円
うち教育費 3 9 8, 6 4 0 千円

（単位：千円、％）

項 目	予算額	構成比	項 目	予算額	構成比
教育総務費	83,871	21.0	社会教育費	117,838	29.6
小 学 校 費	104,339	26.2	保健体育費	28,160	7.0
中 学 校 費	64,432	16.2	教育費合計	398,640	100.0

※災害復旧費を除く

1 公民館について

本年度は、青少年や一般成人等を対象とした各事業について、学習ニーズの高まりや多様化に対応できるように内容の一層の充実を図っていきます。

さらに、自己実現や豊かな社会生活を実現するために、生涯を通じて学ぶことができ、その成果を適切に生かすことのできる機会の充実に努めます。

(1) 青少年教育

事 業 名	内 容	時期・回数	会 場
出雲崎ッズ	小学生対象にレクリエーション、体験型の校外学習などの学習プログラムを通して積極性や社交性、自発的学習能力を養う	（夏休み） 未定	中央公民館 町民体育館 ほか
家庭教育学級	幼児期、少年期、思春期の身体的、ライフステージにおける教育支援を実施	年 1 回	保育園 こども園 小学校 中学校

公設学習塾	小・中学生が自知的好奇心を高め、学び、考え続ける力を鍛え、深い教養を身に付ける場として公設学習塾を設置する。	火・水・土・日	中央公民館
放課後こども教室 放課後児童クラブ	放課後の安心安全な居場所づくりと学びの場を提供するために一体的に実施する。	通年	小 学 校
キッズダンススクール	音に合わせて楽しく踊りながら、リズム感、表現力、コミュニケーション能力等を養う。	年 8 回	中央公民館

(2) 一般成人教育

総 合 大 学	出雲崎町民の必要課題・要求課題を総合的に網羅した講座を開催することにより、住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力にあふれ、生きがいのある生涯学習社会の実現を目的に開催する	年 1 0 回	中央公民館 ほか
料 理 教 室	食の安全と健康を考えながら、手軽で簡単な調理方法を学ぶ	未定	中央公民館
フラワーアレンジメント 教 室	季節の花を使った簡単アレンジの基礎を楽しく学ぶ。 日常に潤いをもたらす。	年 3 回	中央公民館
おうちパン講座	自宅でフライパンなどを使い手軽で簡単な調理方法を学ぶ	未定	中央公民館
古文書講座	古文書に慣れ親しむ、初級の教室	年 3 回	中央公民館
金融講座	お金に関する知識の向上を図り、生活する上での不安を減らし将来のお金の準備をすることを学ぶ	未定	中央公民館

(3) 文化サークル

ガーデニング	心に潤いがもてるよう園芸の基礎を学ぶ	年 10 回程度 土曜日	中央公民館
書 道	書道の基礎を学び、日ごろの生活へ活用する	毎月 2 回程度 土曜日	中央公民館
英 会 話	本場の英語にふれ簡単な英会話を学ぶ	毎月 3 回程度 木曜日	中央公民館

(4)文化活動

良寛さんの心書道展	昭和 56 年に良寛没後 150 年を記念して開催された「良寛書道展」を引き継ぎ、現在は子どもたちに良寛さんの優しい心を継承するため、町内の小・中学生を対象に作品を募集展示する	9 月	中央公民館
生涯学習フェスティバル	公民館が実施している各種文化教室やサークル活動の発表の場を提供するほか、一般町民の芸術・文化に関する作品などを展示する	11 月 2・3 日	中央公民館 町民体育館
良寛学習	良寛の遺徳と慈愛の精神を大切に思い、地域の誇りとして後世に語り継げるよう小中学校の 9 年間実施する	通年	小学校 中学校

(5) 公民館等の利用状況

(単位：人)

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
中央公民館	11,246	7,521	6,884	9,703	14,617
海岸公民館	2,414	1,968	2,005	1,914	1,739
図書館等	2,059	1,408	1,961	2,959	3,343

2 図書館について

本年度の図書館事業についても、多くの町民が本に親しめるように、中央公民館ロビーの一部を図書スペースとして整備していますし、海岸公民館と併せて、今後さらに充実した図書の環境整備を進めていきます。

また、子どもの健やかな成長のために、子ども読書活動推進計画に基づき取組の拡大や充実を図ります。

図書蔵書冊数

令和 6 年 4 月 1 日現在

分類別 館別	000 総記	010 哲学	020 歴史	030 社会科学	040 自然科学	050 技術、 工学	060 産業	070 芸術、 美術	080 言語	090 文学	合計	児童 (再掲)	郷土 (再掲)
海岸公民館	1,160	540	1,074	1,243	827	669	292	1,046	151	10,097	17,099	5,462	802
中央公民館	3,451	666	1,993	1,688	977	806	335	1,466	230	8,807	20,419	3,414	3,058
合 計	4,611	1,206	3,067	2,931	1,804	1,475	627	2,512	381	18,904	37,578	8,876	3,860

3 良寛記念館について

良寛記念館は、本町の貴重な歴史的、文化的遺産であり、良寛生誕の地として地域の誇りとするとともに、次世代へも確実に引き継いでいくため、良寛に関する資料の収集、保管及び展示をし、博物館としての機能充実に努めてまいります。

また、聖僧良寛を通じて町民の郷土に対する認識を一層深め、地域文化・教育の中核拠点として、解りやすい、親しみやすい事業を展開していきます。

さらに、良寛記念館応援倶楽部てまりの会が設立されたことにより、良寛の遺徳をたたえ、永く後世に引き継ぐことが重要であり、町の良き歴史や伝統文化を町内外に情報発信していきます。

- (1) 収蔵資料の整理と適切な保管・管理
- (2) 魅力的な展示企画と好感もてる来館者への配慮

- (3) 広報活動の積極的な展開と関係団体との連携・協力
 (4) 学校教育・社会教育との連携強化

良寛記念館入館者数

(単位：人)

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
11,394	4,532	4,155	8,166	5,579



平成28年8月に
 「国の有形文化財」に登録されました。

良寛記念館

4 文化財行政について

歴史と文化があふれる本町は、町内にある文化財の保護・保存とそれを活用した文化の向上をめざしていきます。さらに、各地区に眠っている文化遺産や民俗・風習等に注目し、「まちの宝もの」としての発掘を推進していきます。

(1) 国の登録有形文化財一覧

名 称	登録番号	所在地	所有者等	登録年月日
割烹みよや	第15-0167号	羽黒町	大矢久幸	H15. 7. 1
季節宿國安主屋	第15-0258号	田中	國安誠人	H19. 7. 31
季節宿國安土蔵	第15-0259号	田中	國安誠人	H19. 7. 31
良寛記念館展示棟	第15-0452号	米田	出雲崎町	H28. 8. 1
良寛記念館管理棟	第15-0453号	米田	出雲崎町	H28. 8. 1
良寛記念館回廊	第15-0454号	米田	出雲崎町	H28. 8. 1

(2) 新潟県指定文化財一覧

種 別	指定番号	名 称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備 考
彫 刻	第28号	木造薬師如来坐像 1体	滝谷薬師堂	大門正応寺	S46. 4. 13	平安末期
工 芸 品	第26号	鰐口1点	滝谷薬師堂	滝谷薬師保存会	S57. 3. 26	応永33年
史 跡	第8号	良寛生誕地 橘屋跡	石井町60の乙	出雲崎町	S27. 12. 10	江戸後期
史 跡	第34号	尼瀬油田機械掘第1号井跡	尼瀬字町裏6-3	出雲崎町	S41. 3. 18	明治中期
天然記念物	第66号	小木ノ城山の樹叢	相田	出雲崎町 新潟漁業協同組合 出雲崎支所	H 4. 3. 27	

(3) 出雲崎町指定文化財一覧

内訳	指定番号	名 称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	備 考
有形文化財	建造物第1号	薬師寺山門1棟	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	明治14年 再建
	建造物第2号	季節宿国安物置	田中	國 安 誠 人	H27. 7. 22	
	彫刻第1号	木造阿弥陀三尊立像3体	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	南北朝
	彫刻第2号	不動明王立像1体	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	江戸初期
	彫刻第3号	不動明王立像1体	小木	三 光 院	S62. 1. 23	鎌倉末期 ～南北朝
	彫刻第4号	観世音菩薩立像1体 (木喰作)	川西	高 橋 ミ ヨ キ	S62. 1. 23	文化2. 7 (1804)
	彫刻第5号	木造日光・月光菩薩立像	滝谷	大 門 正 応 寺	R5. 3. 22	平安末期
	彫刻第6号	木造二天立像 (持国天・増長天)	滝谷	大 門 正 応 寺	R5. 3. 22	平安末期
	書跡第1号	上杉景勝白願書1通	米田	多 聞 寺	S62. 1. 23	天正 15. 8. 17 付 (1587)
	書跡第2号	堀秀治書状1通	米田	鳥 井 儀 資 出雲崎町教育委員会	S62. 1. 23	慶長 10. 8. 28 付 (1605)
	書跡第3号	上杉謙信御願文1巻	相田	薬 師 寺	S62. 1. 23	永禄 6. 7. 18 付 (1563)
	書跡第4号	良寛遺墨13点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	H31. 3. 7 追加指定
	古文書第1号	出雲崎・尼瀬分間絵図 1巻	米田	多 聞 寺	S62. 1. 23	文化7. 6 付 (1810)
	考古資料 第1号	縄文土器1点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	
	考古資料 第2号	縄文土器・石器14点	稲川	駒 村 善 左 工 門	S62. 1. 23	
	歴史資料 第1号	良寛遺品法華経断片1紙	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	
	歴史資料 第2号	良寛遺品布団縞切れ1点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	
	歴史資料 第3号	良寛遺品枕地藏1体	石井町	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	
	歴史資料 第4号	良寛遺品錫杖の環・笏 各1点	米田	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	
	歴史資料 第5号	算 額	滝谷	滝谷薬師保存会	H20. 4. 25	明治2年
有形民俗	有形民俗 第1号	船絵馬29面	羽黒町	羽 黒 神 社	S62. 1. 23	明治16年 ほか(1883)
	有形民俗 第2号	絵馬7面	船橋	三 島 神 社	S62. 1. 23	H31. 3. 7 追加指定
	有形民俗 第3号	船絵馬	尼瀬	光 照 寺	H31. 3. 7	
無形民俗	無形民俗 芸能第1号	出雲崎おけさ		伝 承 団 体 出雲崎おけさ保存会 秀 和 会	S62. 1. 23	
	無形民俗 芸能第2号	お船歌		伝 承 団 体 新潟漁業協同組合 出雲崎支所	S62. 1. 23	
記念物	史跡第1号	小木城跡	相田	出 雲 崎 町	S49. 3. 23	南北朝
	史跡第2号	天河句碑(銀河序)1基	住吉町	出 雲 崎 町	S62. 1. 23	昭和29年

記念物	史跡第3号	赤坂山古戦場	乙茂	出雲崎町	S62. 1. 23	
	史跡第4号	代官所跡	尼瀬	出雲崎町	S62. 1. 23	
	史跡第5号	孝婦ゆりの碑2基	尼瀬	善勝寺	S62. 1. 23	
	史跡第6号	俳諧伝灯塚2基	尼瀬	妙福寺	S62. 1. 23	
	史跡第7号	出雲崎代官所獄門跡	尼瀬	出雲崎代官所 獄門跡保存会	H22. 9. 9	
	天然記念物 第2号	宇奈具志神社の大椎	乙茂	宇奈具志神社	S62. 1. 23	
	天然記念物 第4号	大慶寺の大榎	大寺	大慶寺	S62. 1. 23	
	天然記念物 第5号	延命寺のおんこう	別ヶ谷	延命寺	S62. 1. 23	
	天然記念物 第6号	ユキバツツバキの 生育地	中山 相田	中山 高橋健一ほか 三条市 斎藤雅	H25. 2. 25	
	天然記念物 第7号	三島神社の大杉	船橋	三島神社	H25. 9. 5	
合計	県指定	彫刻 1 工芸品 1 史跡 2	天然記念物 1			計 5 件
	町指定	建造物 2 古文書 1 有形民俗 3 史跡 7	彫刻 6 考古資料 2 無形民俗芸能 2 天然記念物 5	書跡 4 歴史資料 5	計 37 件	

5 社会体育について

町民一人一人が生涯健康でスポーツに親しみ、充実した生活が送れるように各種の体育事業を実施していきます。特に今年度は、近年の健康志向の機運向上を受け、社会人や高齢者向け教室を更に充実していきます。また、さわやかスポーツ教室などの、身体を動かす楽しさを実感できる事業を進めていきます。

(1) 町内大会・教室

大会名	期 日	対 象	会 場
第46回 町民バレーボール大会	6月23日	一 般	町民体育館
第43回 町内ゲートボール大会	10月9日	一 般	屋内ゲートボール場
第18回 町民ウォーキング	10月6日	一 般	町 内
いずもざきマラソン'24	10月27日	一 般	町 内
第35回 町民ソフトバレーボール大会	11月17日	一 般	町民体育館
第9回 町民卓球大会	12月1日	一 般	町民体育館
第38回 屋内ゲートボール大会	2月5日	一 般	屋内ゲートボール場
第44回 町民バドミントン大会	3月16日	一 般	町民体育館
わくわく水泳教室	7月29日～8月2日	児 童	町民プール
さわやかスポーツ教室	通 年	一 般	町民体育館ほか
小学生スポーツチャレンジ教室	バレーボール 6月～12月 卓 球 9月～11月	児 童	町民体育館
町民登山	6月2日	一 般	県内
ファミリースキー&スノーボード教室	2月16日	一 般	県内スキー場

いきいき体操教室	5月～12月	一般	中央公民館
リズム体操教室	9月～11月	一般	中央公民館
ストレッチボール教室	5月～10月	一般	中央公民館
テニス教室	5月～12月	一般	中央公民館
トランポビクス教室	9月～12月	一般	中央公民館
気軽に体操教室	5月～2月	一般	中央公民館

(2) スポーツ推進委員研修会等

事業名	日程	会場
北陸地区スポーツ推進委員研修会	6月29日、30日	村上市
中越地区社会体育総合研修会	10月5日	弥彦村
新潟県スポーツ推進委員大会	6月29日、30日	村上市
二市三刈羽ブロック研修会	9月28日	出雲崎町

(3) 体育協会（共催）関係事業

事業名	日程	会場
柳津町・出雲崎町姉妹都市交流事業	9月8日	野球（青年）、ソフトボール
第23回出雲崎町近郷ソフトボール大会	3月3日	屋内ゲートボール場

(4) 社会体育施設

施設名	設置年月	面積(m ²)	備考
多目的運動場	平成30年4月	2,234	テニスコート2面 フットサルコート1面（テニスコート併用） フリースペース（テニス・サッカー練習版設置） ナイター照明
町民体育館	昭和59年10月	2,799	バレーボールコート 3面 バスケットボールコート 2面 バドミントンコート 6面 トレーニングルーム器具一式 (平成22年3月設置)
町民野球場	平成3年3月	10,799	ナイター照明 4基 外野グリーンサンド仕様
柔道場	平成5年6月	315	161.5畳
屋内ゲートボール場	平成5年6月	514	クレーコート 1面
屋内ゲートボール場 (増設分)	平成15年1月	512	クレーコート 1面
町民プール	平成5年6月	400	競泳用プール 25m×8コース 遊泳用プール
町民プール	平成5年6月	400	ウォータープレイシステム 1式 ウォータースライダー 20m

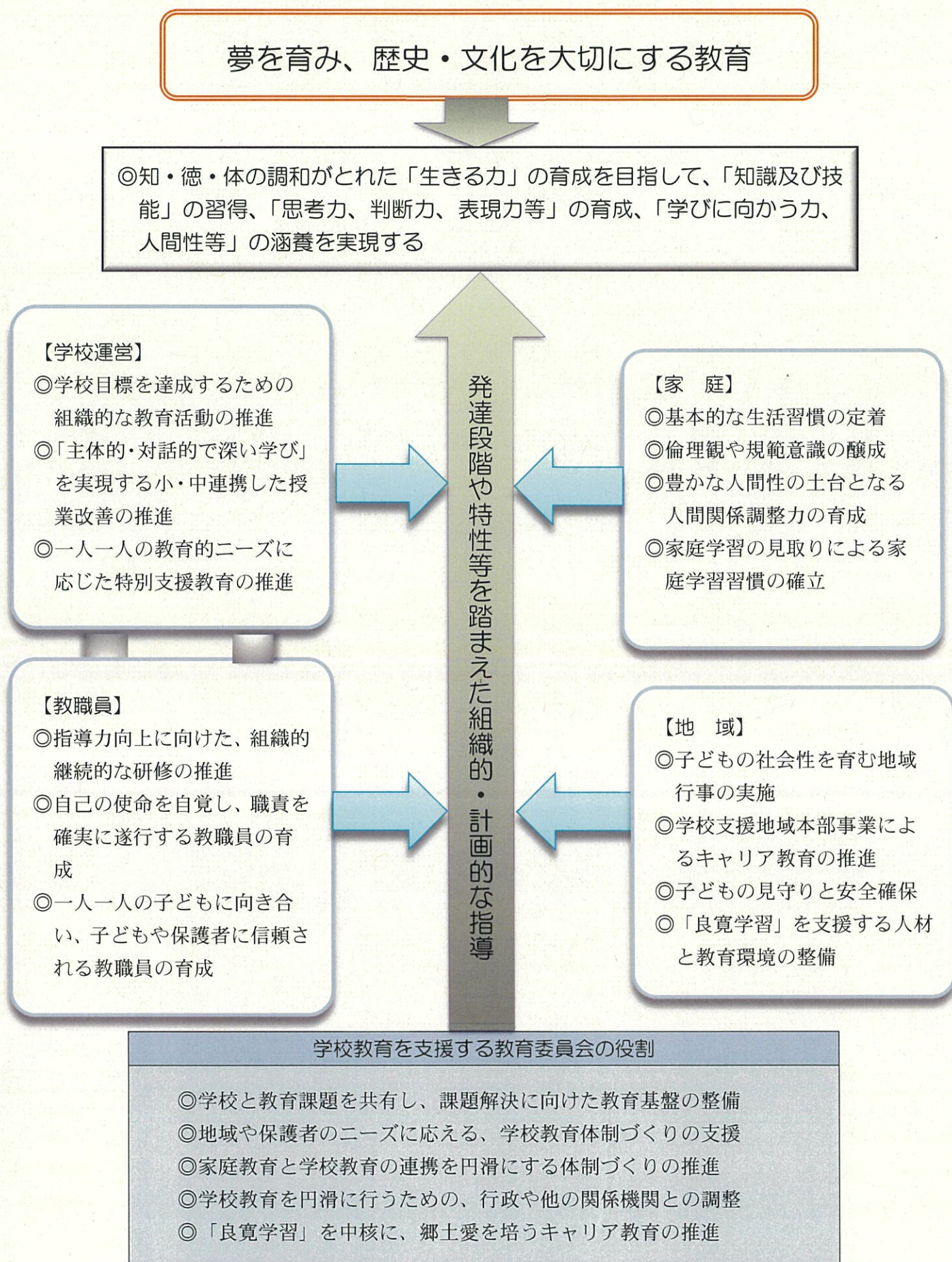
(5) スポーツ団体の状況

(令和 6 年 4 月 1 日現在、単位：人)

出雲崎町体育協会 9 団体 184 人			
構成団体	会 員	構成団体	会 員
野球協会	25	ゲートボール協会	43
バドミントン協会	8	卓球クラブ	22
出雲崎スカイヤーズ	16	出雲崎町インディアカクラブ	12
出雲崎ランニングクラブ	20	出雲崎グラウンドゴルフ協会	18
出雲崎サッカースクール	20		

V 出雲崎町学校教育計画

1 出雲崎町が目指す学校教育の姿



2 出雲崎町の学校教育の基本的な理念

☆生きる力の基盤となる確かな学力の育成(知)

- ◎知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・「見方・考え方」を働かせる授業づくり
 - ・指導や学びに生かす学習評価の充実
 - ・よい点や進歩の状況を積極的に評価
 - ・学習規律と家庭学習習慣の確立
 - ・ICTを活用した「個別最適な学び」の確立

☆豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進(徳)

- ◎善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成
- ・自他の行為の善悪を的確に判断する力の育成
 - ・いじめを見逃さない集団づくり
 - ・自他を大切にし、思いやりのある行動をする態度の育成
 - ・ボランティアや自然体験等、豊かな体験活動の充実
 - ・一人一人が活躍できる場の設定による自己有用感の育成
 - ・情報モラルとSNSを正しく活用する実践力の育成

夢を育み、歴史・文化を大切にする教育

☆夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成(体)

- ◎積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を与えるたくましい心と健康な身体力の育成
- ・基本的な生活習慣定着に向けた自己管理能力の育成
 - ・早寝、早起き、十分な睡眠、朝食の習慣確立の指導
 - ・ゲームやSNS使用のルールを家庭内で確立する指導
 - ・自らの夢を描き社会貢献の大切さを実感する機会の確保
 - ・的確な感染症予防による健康保持に努める態度の育成
 - ・スポーツに親しみスポーツを楽しむ機会の確保
 - ・保健体育、体育的行事の充実

3 学校及び家庭・地域の具体的な取組

学校の取組

◎学校運営

- ・明確な数値目標を達成する組織的な教育活動の推進
- ・「計画・実施・評価・改善」サイクルの学校評価の実施
- ・児童・生徒の生活指導を基盤に据えた教育活動の推進
- ・温かな人間関係づくりを中核にいいじめを見逃さない学級集団づくり

◎学力の向上

- ・見える学力・数値で図れる学力の数値目標の設定と具体的手立ての実施、評価、改善のサイクル
- ・見えにくい学力・数値化しにくい学力を数値化する視点の工夫

◎特別支援教育の充実

- ・障害の種類や程度を的確に把握し、一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実
- ・一人一人の困り感に対応する合理的配慮の実現

◎教職員の資質・指導力の向上

- ・教職員としての資質・能力を高める校内研修の充実
- ・互いに研鑽し高め合う職場風土の醸成

◎地域との連携

- ・地域人材を積極的に活用した教育活動の推進
- ・学校評価の結果公表による説明責任の履行

家庭の取組

◎基本的な生活習慣の確立

- ・規則正しい生活リズムづくり
- ・家庭内でのゲームやSNS使用のルールづくりと定期的な点検の実施

◎規範意識の確立

- ・「いじめ防止の対策といじめ発生時の対応」を家庭内で確認と指導
- ・善悪を的確に判断する能力を培う家庭内ルールの設定と指導

◎豊かな人間性の育成

- ・あいさつの習慣、適切な言葉遣いを身に付ける家庭教育の充実
- ・子どもの話に耳を傾け、子どもの思いを受け止めることで自己肯定感を醸成

◎学習支援

- ・家庭学習の見取りと学習習慣の確立
- ・知的好奇心を高める読書習慣の確立

地域や保護者とともに創造 する学校教育活動の展開

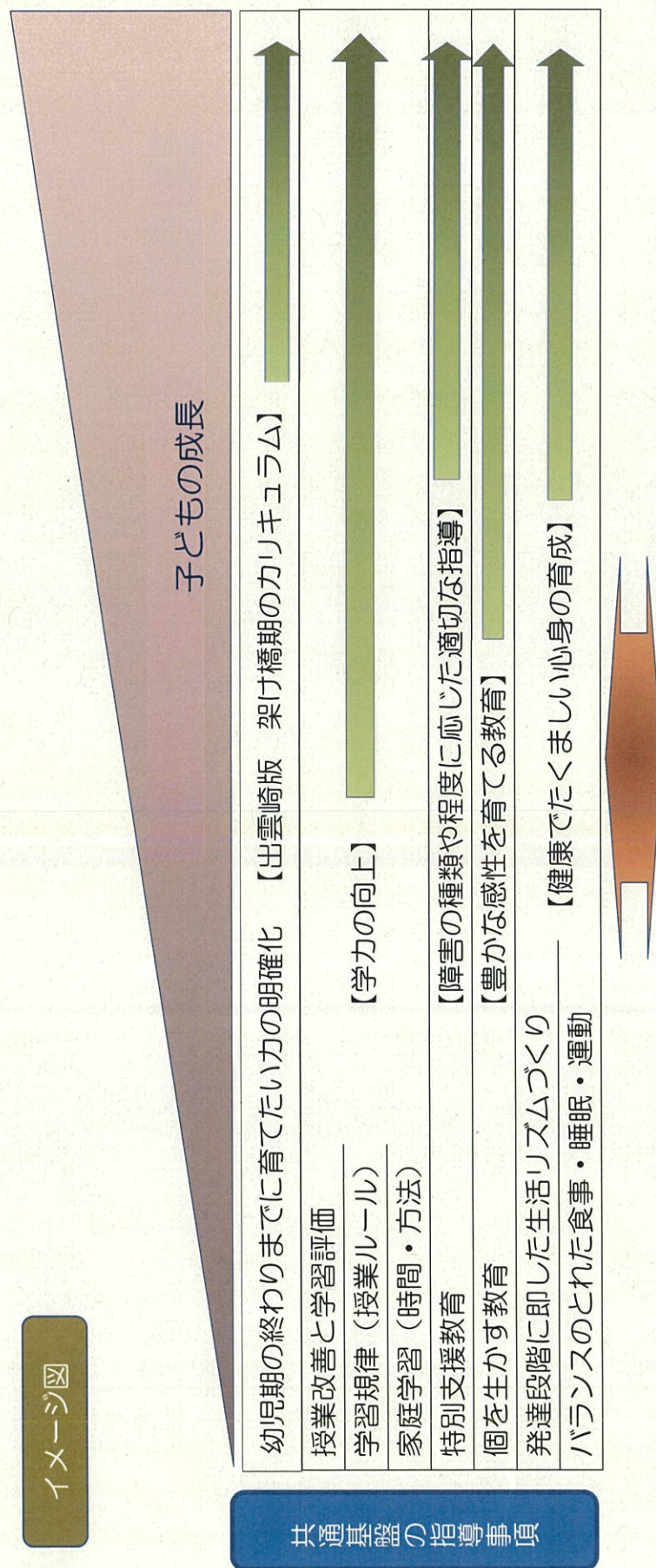
地域

- ・学校支援地域本部事業による地域人材活用とキャリア教育の充実
- ・地域全体による子どもの見守りによる登下校時の安全確保
- ・地元の偉人“良寛”に学ぶ“心の教育”の支援
- ・休日の部活動を地域で円滑に実施するための取組

4 出雲崎町の幼・保、小・中連携による教育

- 1) 小学校と中学校共通基盤に立った指導により、義務教育9年間で子どもを育てることができる。
- 2) 小・中学校の教職員が研修交流を通じてお互いの指導方法や課題について理解を深め、自校の指導に生かすことができる。
- 3) 小・中連携教育により、中学校入学に伴う環境変化に対応できない子どもに対してきめ細かに対応することができる。
- 4) 「架け橋期のカリキュラム作成」を通じて、保育園・こども園と小学校が一貫した体制で幼児教育の充実を図ることができる。
- 5) 出雲崎町の教育方針が保護者に対して明確になり、保育園・こども園・学校と保護者が一体となった教育を進めることができる。

イメージ図



幼児教育・学校教育に対する保護者の理解と連携

小中連携教育の実践

小中連携教育を効果的に行うために、次の取組を進めていく。

【小中教職員の研修の充実】

- ① 中越教育事務所による計画訪問を毎年1学期に小学校で開催し、中学校の教諭も参加して専門的な指導を受ける機会を設けている。
- ② 長岡市教育センターの要請研修を毎年2学期に中学校で開催し、小学校の教諭も参加して専門的な指導を受ける機会を設けている。
- ③ 毎年、人権教育、同和教育研修や特別支援教育研修を開催し、小中職員が一緒に学ぶ機会を設けている。
- ④ 夏休みに三部会研修や教員補助員・介助員研修を開催し、小中職員が同一基盤に立った教育活動を展開できるようにしている。

【小中が連携して地域に学ぶ機会の設定】

学校支援地域本部事業を活用して、小中学校の児童生徒が地域人材を活用し、地域を学び、地域に発信する機会を設定している。その学びの成果を年度末にまとめることで9年間を見通した学びを明確にしている。



5 9年間を見通した出雲崎町の学校教育計画

《具体的な目標》

夢・感性あふれる教育

【知】
CRT 100以上
NRT 50以上

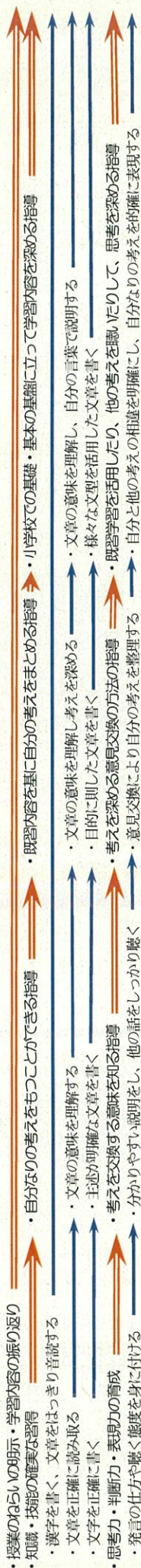
【徳】
規範意識をもち他と協力して活動できる子どもが80%以上

【体】
自らの生活を振り返り、目標達成度が80%以上

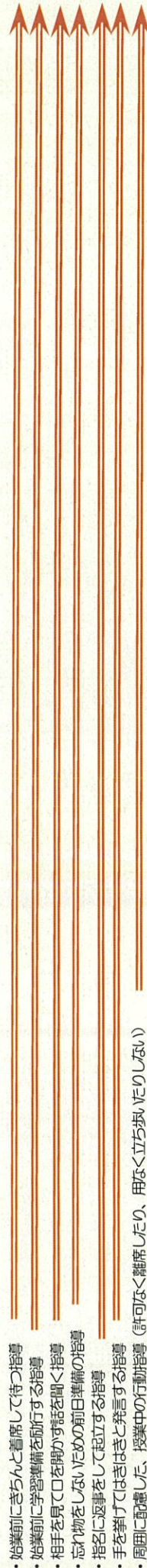
	小学校	中学校
	小1・2・3・4	中1・2・3
発達区分毎のねらい	小学校教育の特質を生かし、きめ細かな指導による基本的な生活習慣の確立や授業における基礎的・基本的な内容の定着を図る。 学級づくりをとおして、互いを尊重することや規則を守ることの大切さを理解させる。	小学校で身に付けた学習内容を活用し主体的に学習する態度を育てる。 生活面では、中学生として生徒会活動や部活動場面に於けるリーダーとして、周囲の人と協働して問題解決にあたる態度を身に付ける。
	9年間を見通した系統だった指導計画の作成と遂行	
	学習内容を自分の言葉で説明できる能力の育成	学習内容を活用したり自他の考えを比較したりして理解を深める指導
学習(知)	授業中の姿勢・持ち物等の基本的な事項の指導 聞き方・話し方の基本的な指導	主体的な学習準備・授業終始のけじめ指導 状況に応じて積極的に学習に取り組む主体的な態度の活動育成
	発達段階に応じた学習規律の確立	
	授業と関連させた家庭学習の指導	主体的に取り組む家庭学習の指導と支援
生活	豊かな心、倫理観、規範意識の醸成。互いに認め合い、協力して活動する能力の育成。	
	発達段階に応じた規範意識の確立・集団活動の基本的なルールへの徹底 決まりや約束事に従って友人と活動できる態度の育成	自立した生活態度の育成
(徳)	自分のよさに気づかせる指導 自分の気持ちを伝える	温かな人間関係の育成 集団の一員として他者と協力して活動する態度の育成 自分の個性を理解すると共に、言動が他者に及ぼす影響の指導 相手の考えを受け止め・尊重し、自分の考えを建設的・協調的に伝える
(体)	発達段階に即した基本的な生活リズムの確立	
	バランスのとれた食事や睡眠時間の確保など基本的な生活リズムの指導の徹底	主体的な自己管理能力の育成
特別支援教育	関係機関と連携した一人一人のニーズに応じた継続的な指導	
	障害の種類・程度の的確な把握に基づく個別的教育支援計画の作成	適正な進路の選択
	児童・生徒の的確な把握と困り感に基づいた合理的配慮、保護者との相互理解に基づく指導内容の見直し及び関係機関と連携した指導の継続	

6 出雲崎町の学校教育 9 年間の指導系統図

【学習指導】



【学習規律】



【家庭学習】



小学校入学

小学校中学年

小学校高学年

中学校入学

義務教育最髙学年

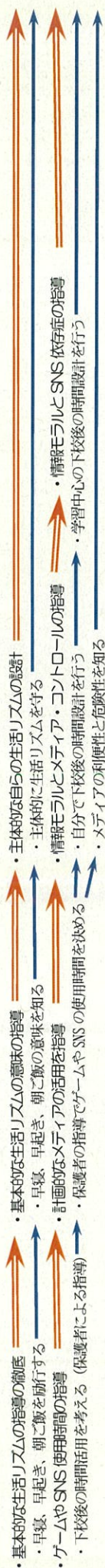
【特別支援教育】



【生活（徳）】（その場での適切な指導が基本）



【生活リズム（体）】



VI 教育計画の大綱

〔出雲崎小学校〕



校長 中澤広行



1 教育目標

【教育目標】 だれとでも仲よくする子 すすんで学びとりくむ子

2 重点目標（育てたい児童の姿） 自らとりくむ みんなでつくる

「自立と共生」を基軸とした本校の教育目標は、今日の社会要請や出雲崎町が目指す学校教育の姿と合致している。そこで、教育目標を踏まえた重点目標を設定した。「自らとりくむ」は、言わば「個別最適な学び」（自分に合った学び）である。自ら学び続け、自己を更新することで社会の変化に柔軟に対応する力を培う。「みんなでつくる」は、「協働的な学び」（多様な人との学び）である。他者を尊重しながら、協働することで、よりよい方向を導く力を養う。

3 重点目標達成に向けて

以下のⅠ・Ⅱ・Ⅲを大切にし、グランドデザインに示す学び・心・体の調和のとれた育成を図る。

Ⅰ 温かな人間関係の構築と個に応じた支援で、自分を大切にし、他者を大切にする気持ち（自尊感情）を育てる。

最も重視することは、自尊感情の育成である。自尊感情とは、自分のできること、できないことなど、すべての要素を包括した意味での『自分』を、他者との関わり合いをとおして、かけがえのない存在、価値ある存在としてとらえる気持ちである。つまり、自尊感情とは、自分を大切にするだけでなく、他者のことも大切にできる気持ちであり、学校生活はもちろん、子供たちが将来生きていくためにも大切な力である。

Ⅱ 多様な人・モノ・コトとの関わりを深める豊かな体験の場を設定する。

次に、重視することは、出雲崎の恵まれた教育資源を生かした体験的な学びである。第6次出雲崎町総合計画における基本目標「夢を育み、歴史・文化を大切にする教育」を踏まえて、設定した。自尊感情は、多様な他者との関わりをとおして育まれる。地域に学び、地域を誇りに思う郷土愛は、自尊感情の形成に重要であり、子供たちが未来を切り拓く意志の原動力となる。地域住民と一体となり、「地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域に学ぶ」教育を推進する。

Ⅲ 情報発信や意見交換、教育相談の機会を捉え家庭や地域、関係者と協働して教育活動を進める。

自尊感情は、「愛される」「ほめられる」「認められる」「感謝される」経験により、育まれる。つまり、自尊感情は、保護者との関係、教師との関係、友達との関係、地域住民等との関係といった人間関係の中で育っていくものである。学校、保護者、地域が理念を共有し、ベクトルをそろえて教育活動を推進していく。その基盤は自尊感情を育むインクルーシブ教育である。

4 家庭との協働ー学校と家庭は共に子供を育てるパートナー

保護者と学校は互いに子育てのベストパートナーでありたい。連絡を密にして、家庭の教育力やPTA活動、活動支援ボランティアなど、保護者と協働して子供を育む。まず、信頼関係を構築し、双方向の連絡が取り合えることを心がける。

保護者には、子供は相互の関わりの中で育つことを理解いただき、我が子だけではなく、学校のすべての子供の支援者になっていただく

5 地域との協働ー子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く

(1) 子供を真ん中に据えて協働するー横の連携ー

昭和53年に西越小学校上校舎・下校舎が統合し、新校舎が現在地に竣工した。平成12年に旧出雲崎小学校と統合し、現在の出雲崎小学校となってから25年目を迎えた。

職員は、学校は地域のものであり、子供は地域から預かっている地域の宝であることを自覚して職務に当たる。「地域の子供はみんなの子供」であり、子供は家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨くものである。当地域にはその理想を叶える有難い環境がある。

出雲崎町は、豊かな自然・歴史・文化・産業等に恵まれている。そのほとんどが教材に活用できるほど、教育財産の宝庫である。さらに、人的体制が充実し、町行政の教育に対する支援は非常に手厚い。例えば、町のスクールバス等を最大限に活用し、地域学習を充実させることができる。地域住民は学校に大変協力的である。学校支援地域本部事業の成果により、当校の教育活動は地域の専門家の協力態勢がしっかりできている。この地域と一体となった学びは、出雲崎小学校の教育の特色であり、今後も一層推進していく。また、平成27年度発足した地域住民による「ほなみが丘またぎ」は、保護者有志も加わり、校舎裏手の学びと遊びのフィールド「ほなみが丘」の整備や校地内樹木の伐採で活躍いただいている。

子供の学びを学校・保護者・地域が支え、子供たちの学びが保護者・地域に活力を与えるような教育活動を心がける。子供が感謝の念をもち、表現する機会を積極的に設ける。

県・町派遣スクールカウンセラー、町派遣特別支援コーディネーターの積極的な活用、子育て支援「きらり」との連携を図り、チーム学校として組織的な対応、実践に努める。

(2) 子供の育ちや学びを連続、発展させるー縦の連携ー

保育園、こども園、中学校と連携し、一貫した指導体制の下、子供たちが健やかに成長していける環境を整備する。町の教育方針を理解し、保護者と一体となった教育を進める。

6 職員の在り方

◎ 子供を一人の人間として尊重する。

◎ 出雲崎地域を敬い、尊ぶ。地域に学び、地域を愛し、感謝の心で働く。

(1) 子供の成長をあきらめない。その姿勢を貫くプロで在りたい。

(2) 感じたら動くー感情を行動へー 行動を感動へー

(3) 生活と仕事の優先順位を意識し、バランスを保つ。

(4) 支え合い高め合う職員集団に。

(5) 積極的な情報発信と交流で信頼関係を築き、支援者を増やす。

令和6年度 出雲崎小学校のグランドデザイン



教育目標

だれとでも仲良くする子
すすんで学びとりくむ子



年度の重点目標

自らとりくむ みんなでつくる

スローガン

レッツチャレンジ自分らしく輝こうー

- <大切にすること>
- I 温かな人間関係の構築と個に応じた支援で、自分を大切に、他者を大切にする気持ち（自尊感情）を育てます。
 - II 多様な人・モノ・コトとの関わりを深める豊かな体験の場を設定します。
 - III 情報発信や意見交換、教育相談の機会を捉え、家庭や地域、関係者と協働して教育活動を進めます。

確かな学びを創る

まなびの部

目指す子供の姿

◇主体的に学び、学び合うことで、確かな学力を身に付ける子

- (1) 課題解決に向けて自ら考え学び合う
- (2) 学習習慣、読書習慣を身に付ける

そのために学校では

- ・主体的に学ぶ場や関わり合いの場を設定したり、ICTを活用したりして、学ぶ楽しさが実感できる授業づくりをします。
- ・タブレットやドリル等を活用した学びを家庭学習につなげ、基礎学力を定着させます。
- ・読書活動の取組を工夫し、意識を高めます。

主な評価目標

- ・「進んで学習に取り組むことができた」「授業が分かる」「話し合いの場で自分の考えを伝えることができた」と答える児童が85%
- ・目標とする家庭学習時間の定着率が85%
- ・「進んで読書に取り組んだ」と答える児童が85%

家庭との協働

- ☆家庭学習に取り組めるよう支援を工夫し、内容や成果を積極的に家庭に知らせます。
- ☆家庭学習や読書習慣づくりの声かけや確認を学校と家庭の相互で行います。

豊かな感性と社会性を育む

こころの部

目指す子供の姿

◇自分や他者の気持ちを考え、進んで行動できる子

- (1) 相手の気持ちを考えて行動する
- (2) 自分から気持ちのよいあいさつをする

そのために学校では

- ・人権を考え、自他の気持ちを大切にする心を育みます。
- ・異学年交流の場を定期的に設けるなど、人と関わる機会を増やします。
- ・あいさつ活動の取組を工夫し、意識を高めます。



主な評価目標

- ・「友達に進んで優しい言葉をかけた」と答える児童が、各学期平均90%
- ・「係活動や当番活動、委員会のしごとなどで周りの人の役に立てた」と答える児童が90%
- ・「自分から相手の目を見てあいさつできた」と答える児童が90%

家庭との協働

- ☆家庭との連携や情報交換をこまめにかつ迅速に行い、いじめの早期発見と解消に努めます。
- ☆家庭や地域ぐるみでのあいさつ活動を行います。

健康・安全と体力の向上を図る

からだの部

目指す子供の姿

◇健康や安全、運動のめあてをもち、自ら取り組む子

- (1) 自ら望ましい生活習慣をつくる
- (2) めあてに向かって運動し、体力を向上させる

そのために学校では

- ・定期的に生活習慣を確認し、自分の生活を見直させ改善を促します。
- ・一人一人がめあてを設定し、振り返りによって自己の成長を自覚させ、体力を向上させます。
- ・自らかかわって運動したくなる場を設定し、運動への意欲を高めます。



主な評価目標

- ・「自分で起きることができた」と答える児童が85%
- ・「ねるじこくを守ることができた」と答える児童が80%
- ・「進んで体を動かした」「めあてに向かって努力した」と答える児童が90%

家庭との協働

- ☆適切なメディア利用を含めた生活習慣指導を行い、内容を家庭へ知らせます。



自尊感情を高めるインクルーシブ教育

【出雲崎町が目指す学校教育の姿】

夢を育み、歴史・文化を大切にする教育

知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指して、「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現する。

主な協働組織・団体

- 学校支援地域本部事業
- 後援会
- 地域コーディネーター
- 青少年育成町民会議
- またぎの会
- 園・小・中・高連携
- 学習支援ボランティア

7 年間授業時数

教科領域 学年	各教科										道徳	総合的な学習	外国語活動	特別活動					合計
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語				学級活動	*委員会含む 児童会活動	学級活動	学校行事	クラブ活動	
1年	306		136		102	68	68		102		34			34	13	34	32		895
2年	315		175		105	70	70		105		35			35	13	35	31		954
3年	245	70	175	90		60	60		105		35	70	35	35	13	35	34		1027
4年	245	90	175	105		60	60		105		35	70	35	35	15	35	36	10	1076
5年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	70		35	27	35	45	10	1097
6年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	70		35	26	35	47	10	1098

8 主な学校行事

1 学 期		2 学 期		3 学 期	
4/ 8	新任式・始業式	8/27	始業式	1/ 8	始業式
4/ 9	入学式	9/ 5-6	5年自然教室（妙高）	1/10	書き初め大会
4/25	交通安全教室	9/19	親善陸上大会	1/28-29	学力テスト
4/25	1年生を迎える会	9/27	学習参観	1/30	避難訓練③
4/26	学習参観・PTA 総会	10/ 3	就学時健康診断	1/31	スキー教室（6年）
5/25	大運動会	10/19	音楽発表会・絵画展	2/ 5	スキー教室（5年）
5/30	避難訓練①	10/23	避難訓練②	2/ 7	スキー教室（4年）
6/ 4-5	6年修学旅行（佐渡）	10/25	ふた葉遠足	2/12	新1年生移行学級
7/ 1-4	個別懇談	11/22	ふた葉まつり	2/20	学習参観・学年懇談会
7/24	終業式	11/25-28	個別懇談	3/ 6	6年生ありがとう集会
		12/ 6	中学校説明会・中学体験入学	3/24	終業式
		12/24	終業式	3/25	卒業証書授与式
				3/26	離任式

9 児童数

（令和6年5月1日現在）

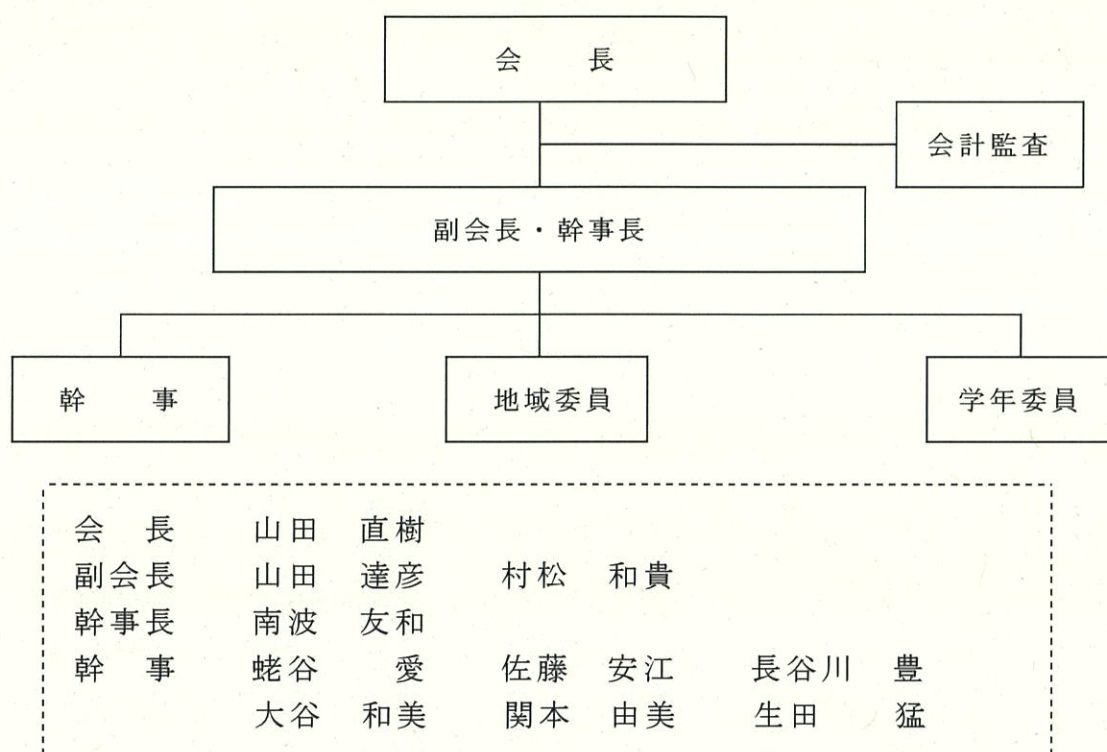
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特 別 支 援			合 計
							くみ1	くみ2	くみ3	
男子	10	10	14	7	10	9	4	3	3	60
女子	13	5	16	20	14	20	4	1	3	88
合計	23	15	30	27	24	29	8	4	6	148

※各学年の人数は特支学級在籍児童を含む

10 職員一覧表

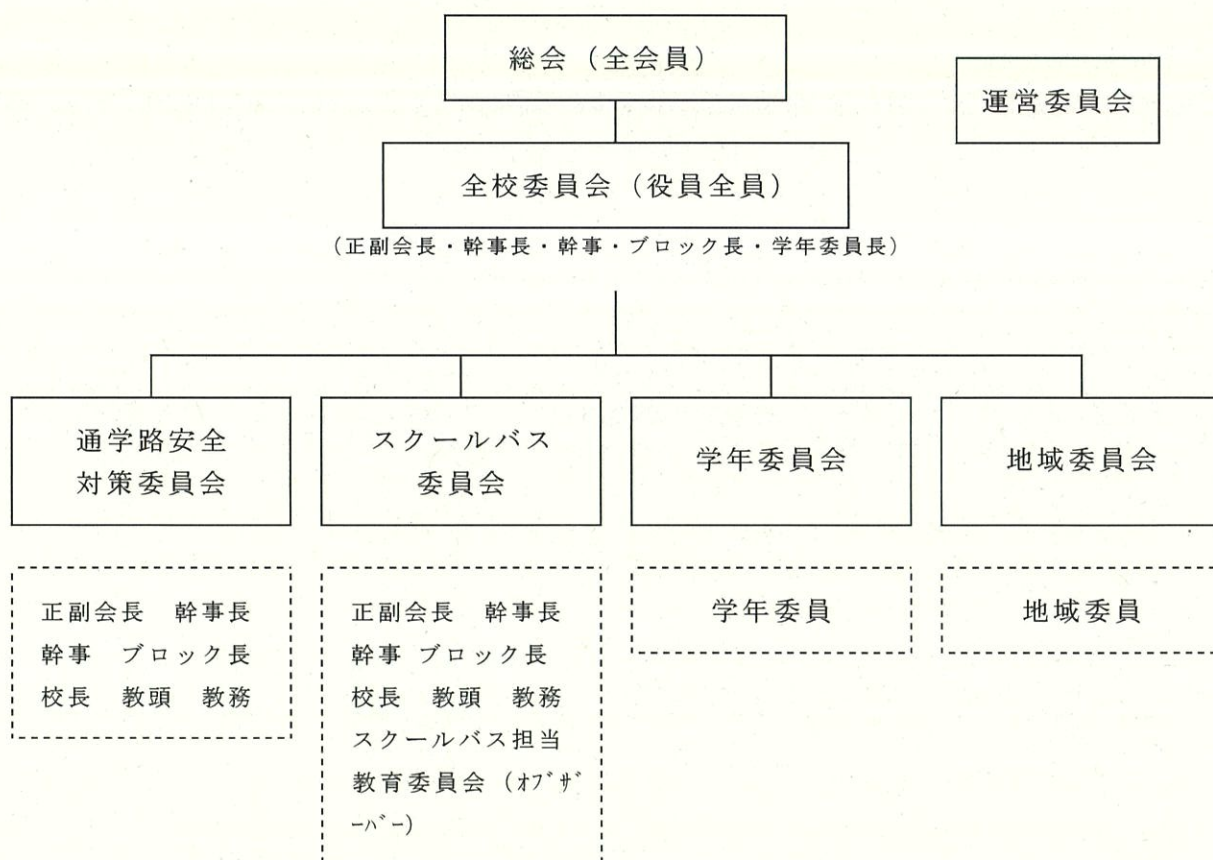
No.	職名	氏 名	主な校務分掌	備 考
1	校 長	中澤 広行	学校経営	
2	教 頭	佐々木 善男	学校運営, 後援会, 町PTA事務局, 学校支援地域本部事業	
3	教 諭	笛田 弘	教務主任, PTA事務局, スクールバス	
4	教 諭	小黒 智美	1年担任, 生活指導主任, 音楽主任	
5	教 諭	豊 洋介	2年担任, 研究主任, 生活主任, 環境主任	
6	教 諭	井口 啓	3年担任, 理科主任, 総合主任, キャリア主任	
7	教 諭	山田 佳菜	4年担任, 国語主任, 図書館主任, 人権, 同和主任	
8	教 諭	矢代 梨花	5年担任, 家庭主任, 情報主任, 学級活動主任	
9	教 諭	飯田 千夏	6年担任, 特別活動主任, 児童会主任	
10	教 諭	伊藤 美架	くすみ1組(知)担任, 特支主任コーディネーター, 図工主任	
11	教 諭	青柳 勇治	くすみ2組(自・情)担任, 社会主任, 安全・防災主任, クラブ主任	
12	教 諭	高橋 晴奈	くすみ3組(自・情)担任, 特支コーディネーター, 道德主任	
13	教 諭	齋藤 鳳人	高学年専科, 保健主事, 算数主任, 外国語主任	
14	教 諭	丸山 恵梨		育児休業
15	教 諭	北川 智美		産前産後休暇
16	教 諭	長束 智美	外国語指導, 外国語活動指導	兼務(本務校刈羽小)
17	栄養教諭	沖田 仲子	給食指導, 食育	兼務(本務校出中)
18	助教諭	田島 昇樹	体育専科, 体育主任	
19	養護教諭	関根 香菜子		育児休業
20	養護助教諭	親松 萌子	学校保健, 食の教育	
21	主 任	藤井 高天	学校事務, 経理主任, 庶務主任, PTA事務局	
22	スクールカウンセラー	稲葉 健	教育相談	
23	教員補助員	岩田 映子	特別支援教育補助, 学習補助, 学校事務補助	
24	教員補助員	山後 加奈子	特別支援教育補助, 学習補助, 学校事務補助	
25	教員補助員	猪俣 衣吏	特別支援教育補助, 学習補助, 学校事務補助	
26	教員補助員	野口 聡美	特別支援教育補助, 学習補助, 学校事務補助	
27	情報支援員	山田 豊	情報教育支援	
28	理科支援員	山崎 護	理科学習支援	
29	介助員	権頭 和美	児童介助	
30	介助員	伊藤 好美	児童介助	
31	介助員	渡邊 奈津美	児童介助	
32	介助員	金山 実香子	児童介助	
33	主任調理師	平沢 昌宏	給食調理	
34	調理員	近藤 小百合	給食調理	
35	調理員	山田 範子	給食調理	
36	調理員	小野塚 温子	給食調理	
37	施設管理員	小林 憲雄	学校施設管理, 用務	
38	相談員	高梨 琢哉	教育相談	
39	相談員	松崎 史欣	教育相談	
40	ALT	Alex Medina	外国語指導	

11 PTA組織



PTA会議図

(正副会長・幹事長・幹事・事務局)



〔出雲崎中学校〕

学校経営



校長 佐藤 登



1 教育目標

「豊かな心 たくましい実践」

2 教育目標の実現に向けて

教育目標「豊かな心 たくましい実践」の実現に向け、学校・家庭・地域が一体となって目標を共有し、連携・協力して教育活動を推進する、「地域とともにある学校」を目指す。

(1) ふるさと出雲崎に根付く「心耕」の精神

○昭和7年「心耕学園」設立…“地域発展は有能な人材育成にその礎があり”、「魂の教育」・「労作教育」

○小学校・高等科・女学校・農学校を統合し、「適性教育」「自立的活動」「合科教育」を実践。

※「心耕」の精神 = 「たくましい実践」を通して、「豊かな心」を醸成する

(2) 身に付けさせたい「豊かな心」、取り組ませたい「たくましい実践」

- | | | |
|---------|------------------|--------------------|
| ○「自律の心」 | … 自分で考え、判断し、行動する | → 自分で考え、自分の思いを伝えよう |
| ○「慈愛の心」 | … 互いに認め合い、思いやる | → 自分と仲間のために行動しよう |
| ○「挑戦の心」 | … 高い目標を掲げ、自己を磨く | → あきらめず、粘り強くやり抜こう |

3 出雲崎中学校の目指すべき姿

(1) 目指す生徒像（重点目標）

- 1 わかるまで、できるまで学ぶ生徒
- 2 お互いを思いやる、心優しい生徒
- 3 自己に挑戦し、自ら鍛える生徒

(2) 目指す職員像

- 1 学力向上のための授業改善や研修に取り組み、生徒とともに学び続ける職員
- 2 生徒・保護者・地域と心を通わせ、信頼される職員
- 3 生徒の心身の健康と安心・安全な学校づくりに心を配る職員

(3) 学校経営の中核

- ①人と人とのつながりを大切にし、予測困難な時代を、力強く、自分らしく切り拓くことができる生徒を育成する。
- ②自らの人格を磨き、自信をもって生徒に向かい、力を出し切ることができる教職員集団を目指す。
- ③「地域とともにある学校」の実現に向け、家庭・地域から信頼される学校づくりに取り組む。

4 具体的方策

(1) 「わかるまで、できるまで学ぶ生徒」の育成

①新学習指導要領を確実に実施するとともに、学習習慣の定着を図り、知識・技能を高める。

- ・学習規律を確立し、共に学び合う観点から学習ルールを定着させる。
- ・家庭学習の習慣化のために、実態に合った取組を家庭や小学校と連携して行う。

②課題設定や発問を工夫し、考え、議論する場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力を高める。

- ・話し合い活動、協働活動等の交流場면을積極的に設定し、互いの良さに気づき、仲間とともに課題解決に向かう姿勢を身に付けさせる。
- ・地域教材を活用し、学んだことを分かりやすくまとめ、発表する工夫と手法を身に付けさせる。
- ・体験活動を通して、進路や生き方に関する目標を設定させる。

③学ぶ意義を理解させ、学びの有用性を感じさせることにより、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

- ・「主体的・対話的で深い学び」を大切にした授業づくりを行う。
- ・授業のねらい、課題、方法、まとめ、振り返り等を明示するなどのUD化を図り、生徒が見通しをもって授業に臨めるようにする。

④ICTを活用し、学びのデータや習熟度に応じた指導・援助を充実させることにより、個別最適化された学びの実現を図る。

- ・失敗を恐れず「一人一台端末」を積極的に活用し、双方向型の一斉学習、一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習、多様な交流による協働学習を展開する。
- ・一人1台端末使用にあたってのルールを共有するとともに、様々な場面で情報モラルに関する指導を徹底する。

(2) 「お互いを思いやる、心優しい生徒」の育成

- ①思いやりをもち、自己や他者、社会にとってより良い判断ができるよう、「考え、議論する道徳」を推進する。
 - ・生徒の実態に合ったカリキュラムを作成し、豊かな情操や倫理観、規範意識をはぐくむ道徳教育を推進する。
 - ・評価の充実、家庭や地域と連携した道徳教育のあり方について研修を進める。
- ②同和教育を中核とした人権教育を推進し、人権意識の高揚を図り、差別や偏見を許さず、自他を大切にして行動することができる力を育む。
 - ・「生きるIV」を活用した同和教育の実践により、差別や偏見を許さず、自他を大切にして平等な社会を築こうとする意識を醸成する。
 - ・生徒が主体となって行う「いじめ見逃しゼロスクール集会」の開催、「かかわり合って学ぶ」授業の展開等、教育活動全体を通じて社会性を育成する。
- ③教育活動の様々な場面で「人とかわる」交流の場面を設定し、集団の中で自己有用感を高めるとともに、互いの良さを実感させ、思いやりの心を育てる。
 - ・話し合い活動、協働活動等の交流場面で、人の話を受容的に聞く習慣を身に付けさせる。
 - ・体育祭、学習発表会等の学校行事や生徒会活動等を通して、変化を前向きに受け止め、持続可能な社会の創り手として、社会の形成に参画する資質・能力を育てる。
 - ・地域との交流、職場体験学習等を通して、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働する態度を育てる。

(3) 「自己に挑戦し、自ら鍛える生徒」の育成

- ①自分の健康や体力の向上に関心をもち、自分の生活を振り返りながら、主体的に健康を維持管理していこうとする態度を育てる。
 - ・保健体育授業の充実を図り、運動への関心、資質・能力の向上に継続して取り組ませるとともに、部活動や地域のスポーツクラブ活動への所属を奨励し、継続的に運動やスポーツに親しませる。
 - ・新体力テストの結果を分析し、一人一人の課題に基づいたトレーニング方法を指導する。
- ②基本的な生活習慣の確立に向けて、計画的・継続的な指導を徹底する。
 - ・ハッピーライフウィーク（強調週間）で、健康な生活を意識しながら生活させる。
 - ・自らの生活を律し、メディアコントロールと「早寝・早起き・朝ごはん」を通して健康的な生活を送る生徒を育てる。
 - ・感染症への対応について、全校体制で対策を徹底するとともに、生徒の心の安定に配慮する。
- ③教育活動全体を通して、生徒の前向きな取組、より高い目標に向かって努力しようとする姿勢を賞讃、奨励する。
 - ・生徒一人一人を全職員で見守り、正しい言動や前向きな姿勢を褒め、失敗には温かくも凛とした指導を行いながら、向上心を育てる。
 - ・学級や専門委員会の係活動・当番活動を責任ある行動で確実にやり遂げる経験、様々な体験活動への主体的な取組を促すことにより、自己肯定感・自己有用感を高める。

(4) その他の取組

- ①実効性のある職員研修の充実
 - ・生徒の実態に合ったカリキュラム・マネジメントを実践する。
 - ・学び合い、集団づくり、豊かな体験活動等を通して、生徒の思考力・判断力・表現力の伸長を図る方策を探る。
- ②特別支援教育・インクルーシブ教育の充実
 - ・特別支援教育やインクルーシブ教育の推進に向けた研修を深め、基礎的環境整備に取り組む。
 - ・さわらび学級に在籍する生徒や通常学級での特別な支援を要する生徒の実態把握に努め、対応について全職員で共通理解を図る。また、UDLの視点を取り入れた学習環境づくり・授業づくりに全校体制で取り組む。
 - ・保護者・小学校・特別支援学校・医療機関・町当局と連携を図り、個別的教育支援計画に基づいたきめ細やかな支援に努める。
- ③保護者や地域、小・中・高等学校との連携強化
 - ・小学校との連携を深め、目指す子ども像を共有し、9年間を見通した指導のあり方を追求する。
 - ・授業公開や学力向上・授業改善のための小・中・高の連携を推進し、一貫した実効性のある教育を展開する。
 - ・地域とつながる教育活動を意図的・継続的に計画し、地域を知り、地域に貢献する活動を進める。
 - ・学校評議員会、後援会、同窓会等の組織との連携による地域協働の取組を機能させ、「地域に開かれた教育課程」の実現を目指す。
 - ・学校だよりやホームページ、メール配信等で、学校の教育活動を積極的に保護者や地域に発信・紹介する。
 - ・学区の保育園や高等学校、隣接する長岡・柏崎市の小・中・高等学校と情報交換を図るとともに、地域に出向き、学校に対する意見や要望に耳を傾け、保護者や地域のニーズに応えていく。

5 年間指導時数の配当

	教 科									道徳	学級活動	総合学習	合計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技 術 家庭	英語				
1年	140 (4)	105 (3)	140 (4)	105 (3)	45 (1.3)	45 (1.3)	105 (3)	70 (2)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	50 (1.4)	1015 (29)
2年	140 (4)	105 (3)	105 (3)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	105 (3)	70 (2)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	1015 (29)
3年	105 (3)	140 (4)	140 (4)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	105 (3)	35 (1)	140 (4)	35 (1)	35 (1)	70 (2)	1015 (29)

6 主な学校行事

1 学 期	2 学 期	3 学 期
4/ 8 始業式	8/26 始業式	1/8 始業式
4/ 9 入学式	8/29・30 第2回定期テスト	1/20～22 三者面談
4/10 1年自転車教室	9/14 体育祭	1/24 生徒総会
4/12 生徒会入会式	9/24 いじめ見逃しゼロスクール集会	1/30・31 第4回定期テスト(3年)
4/16 全国学力・学習状況調査	10/2・3 郡市新人各種大会	2/17・18 第4回定期テスト (1・2年)
4/24・25・26 3年生修学旅行	10/10 中越地区駅伝大会	
5/ 7 学習参観・PTA 総会	10/12 資源物回収	2/19 同窓会入会式 良寛学習終了証授与式
5/17 生徒総会	10/19 学習発表会	2/20 三送会
5/21 避難訓練	10/31 避難訓練	3/4 第53回卒業式
5/30・31 第1回定期テスト	11/1 総合1日体験活動日	3/5 公立高校学力検査
6/7・8・12・18・19・22 中越地区各種大会	11/7・8 第3回定期テスト	3/6 公立高校独自検査
6/17 出雲崎大祭	11/14 進路説明会	3/25 終業式・離任式
7/13・14 県総体	11/26 立会演説会・投開票	
7/20・21 中越吹奏楽コンクール	12/6 小6体験入学・保護者説明会	
7/24 終業式	12/7・8 県アンサンブルコンテスト	
7/29～8/1 保護者面談	12/10～13 保護者面談	
	12/24 終業式	

7 生徒数

(令和6年5月1日 現在)

	1年	2年	3年	さわらび	合計
	1組	1組	1組		
男子	3	12	19	3	34
女子	16	18	6	2	40
学年計	19	30	25	5	74

※ 各学年の人数は特別支援学級在籍生徒を含む

8 進路指導の大綱

(1) 指導の重点

ア 生徒一人一人の個性・能力・適性の把握に努め、その発達段階に応じた進路情報、啓発的経験及び進路相談を通して、将来の進路選択が主体的かつ適正に行われるよう指導・援助する。

イ 卒業後の生活によりよく適応し、自己実現を図ることができるよう継続的に指導する。

(2) 具体的な方策

- ・進路指導計画に基づき、効果的な進路の学習を進める。
- ・各種検査・進路相談を実施し、結果を指導に生かす。
- ・発達段階に応じた適正な進路情報を与える。
- ・保護者会・家庭訪問を通して進路選択や決定での保護者の理解と認識を高める。

9 職員一覧

	職名等	氏名	学年・学級	教科	主な校務分掌	部活動
1	校長	佐藤 登			学校経営	
2	教頭	細谷 大祐	2学年副任	技術	PTA、同窓会、後援会、防火管理者、地域支援	吹奏楽
3	教諭	久保田 ひとみ	3学年主任	国語	進路指導主事、キャリア教育、図書館教育	吹奏楽
4	教諭	渡辺 嘉章	1学年主任	社会	副教務主任、総合学習、学年委員会	男女卓球
5	教諭	葛岡 進	さわらび主任	英語	特支コーディネーター、安全教育、奉仕委員会	バレーボール
6	教諭	伊藤 直樹	2学年主任	理科	研究主任、初任研指導、環境教育、学習指導	野球
7	教諭	川上 淳	さわらび担任	数学	生徒指導主事、防災教育、応援団	バレーボール
8	教諭	弥久保 直輝	3学年担任	数学	特別活動、学級指導、生徒会	野球
9	教諭	早川 佳景	1学年担任	英語	道德教育、人権教育、同和教育、グローバル	女子卓球
10	教諭	菅井 悠平	2学年担任	保健体育	中体連、部活動、放送委員会	男子卓球、駅伝
11	教諭	小岸 正樹	1学年副任	理科	情報教育、ICT 教育推進、図書委員会	男女卓球
12	教諭	菊地 雅樹		音楽	教務主任、学校評価	吹奏楽
13	養護教諭	五十嵐 恵	2学年副任		保健主事、清掃指導、教育相談、保健委員会	
14	栄養教諭	沖田 仲子			学校給食、保健委員会	
15	主事	大沼 真衣			学校事務	
16	非常勤講師	岩渕 恵子		家庭	週1回(水)	
17	非常勤講師	笠原 利章		美術	週1回(金)	
18	教員補助員	佐藤 聖子	1学年副任	数学	生活委員会	
19	教員補助員	増田 政子	3学年副任	英語	放送委員会	
20	介助員	安達 美奈子	2学年副任			
21	介助員	田口 統子	3学年副任			
22	施設管理員	内山 諒				
23	主任調理師	佐藤 昭人				
24	調理員	平田 典子				
25	調理員	中元 圭子				
26	心の教室相談員	八子 幸子				
27	教育相談員	松崎 史欣				
28	カウンセラー	稲場 健				
29	ALT	Alex Medina				
30	情報教育支援員	山田 豊				

11 PTA組織

	所 属	役 職	氏 名	執行部	運営委員会	代議員
1		会長	松永 佐和子	執行部	運営委員	代議員
2	文化教養部 (部長)	副会長	諸橋 弘子	執行部	運営委員	代議員
3	育成活動部 (部長)	副会長	小林 恵	執行部	運営委員	代議員
4	文化教養部	幹事長	笠原 加奈子	執行部	運営委員	代議員
5	育成活動部	幹事	椎谷 圭介	執行部	運営委員	代議員
6	文化教養部	幹事	小野 美保	執行部	運営委員	代議員
7	育成活動部	幹事	南波 由佳	執行部	運営委員	代議員
8	文化教養部	幹事	細木 克敏	執行部	運営委員	代議員
9	1学年委員会	委員長	篠崎 充映		運営委員	代議員
10	2学年委員会	委員長	相澤 綾香		運営委員	代議員
11	3学年委員会	委員長	小林 慶一		運営委員	代議員
12	1学年委員会	委員	島 明日香			代議員
13	1学年委員会	委員	諸橋 絵理子			代議員
14	2学年委員会	委員	磯邊 はるみ			代議員
15	2学年委員会	委員	竹内 優貴			代議員
16	3学年委員会	委員	安藤 孝道			代議員
17	3学年委員会	委員	根立 康平			代議員
18	1班地区委員 育成活動部 会計監査	班長	櫻井 真理			代議員
19	2班地区委員 育成活動部	班長	篠崎 潮宏			代議員
20	3班地区委員 育成活動部	班長	太古 理絵			代議員
21	3班地区委員 育成活動部	副班長	高橋 伸明			代議員
22	4班地区委員 育成活動部	班長	河野 美樹			代議員
23	4班地区委員 育成活動部	副班長	足立 さやか			代議員
24	4班地区委員 育成活動部	委員	仲野 舞子			代議員
25	5班地区委員 育成活動部 会計監査	班長	小田 瑛栄			代議員

【会 長】 会務の総括 【副会長】会長の補佐。会長の職務代行

【幹 事】 庶務・経理 【執行部】正副会長・幹事長・幹事で構成。全体計画の策定・運営

【運営委員会】 正副会長・幹事長・幹事・学年委員長で構成。運営委員会の企画・運営

【代議員】 総会と同様の決議機関

【文化教養部】 文化活動行事の企画・運営、各種研修参加計画の立案を行う

【育成活動部】 地域活動の推進を行う

令和6年度 出雲崎中学校グランドデザイン



教育目標

豊かな心 たくましい実践

“ふるさと出雲崎”に根づく

「心耕」の精神

「心耕」の精神 ⇒ 「たくましい実践」を通して、「豊かな心」を醸成します

【豊かな心】

- 「自律の心」…自分で考え、判断し、行動する
- 「慈愛の心」…互いに認め合い、思いやる
- 「挑戦の心」…高い目標を掲げ、自己を磨く

【たくましい実践】

- ← 自分で考え、自分の思いを伝えよう
- ← 自分と仲間のために行動しよう
- ← あきらめず、粘り強くやり抜こう

【令和6年度の重点 『目指す生徒の姿』】

【知】意欲をもって、わかるまで、できるまで学ぶ生徒	【徳】お互いを思いやる、心優しい生徒	【体】目的をもって自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
【努力事項】 ○学習指導要領を確実に実施するとともに、学習習慣の定着を図り、知識・技能を高める。 ○課題設定や発問を工夫し、考え、議論する場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力を高める。 ○学ぶ意義を理解させ、学びの有用性を感じ得させることにより、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 ○ICTを活用し、学びのデータや習熟度に応じた指導・支援を充実させることにより、個別最適化された学びの実現を図る。 【目指す生徒の姿】 ○より良く表現しようとする姿 ・授業や生徒会活動等、学校生活の中で、各自が学期毎に5回以上文章や言葉で発表する。 ・「より良い表現」を意識して発表に取り組む。 ○学びに向かう姿 ・チャイムと同時に授業に取り組む。 ・スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。 ・家庭学習について、毎日60分+学年×10分以上、内容を工夫して計画的に取り組む。	【努力事項】 ○思いやりをもち、自己や他者、社会にとってより良い判断ができるよう、「考え、議論する道徳」を推進する。 ○同和教育を中心とした人権教育を推進し、人権意識の高揚を図り、差別や偏見を許さず、自己を大切に行動することができる力を育む。 ○教育活動の様々な場面で、「人とのかかわる」交流の場面を設定し、集団の中で自己有用感を高めるとともに、互いの良さを実感させ、思いやりの心を育てる。 【目指す生徒の姿】 ○自己肯定感・自己有用感 ・専門委員会や学級の係活動などで自分の担当の仕事に取り組む。 ・学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。 ○豊かな人間関係 ・周囲と接するとき「慈愛」を意識した言動を心掛ける。 ・悩みや困ったことがあったら、家族や先生、友人に相談できる人がいる。	【努力事項】 ○自分の健康や体力の向上に関心をもち、自分の生活を振り返りながら、主体的に健康を維持管理していくという態度を育てる。 ○基本的な生活習慣の確立に向けて、計画的・継続的な指導を徹底する。 ○教育活動全体を通して、生徒の前向きな取組、より高い目標に向かって努力しようとする姿勢を賞讃、奨励する。 【目指す生徒の姿】 ○体力の向上 ・体育の授業や部活動、昼休み等、日常生活の中で運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。 ・新体力テストにおいて、県平均を36項目中24項目以上超える。 ○基本的な生活習慣の確立 ・「ハッピーライフウィーク」の取組の中で、 ①7時間以上の睡眠をとる。 ②メディア（勉強目的以外のタブレット使用・SNS・パソコン・ゲーム）の使用を2時間以内にする。 ③栄養バランスを考え3食とる。



地域・保護者との協働	出雲崎町の学校教育の基本理念	小学校との協働（小中一貫教育）
◎地域の組織・人材 ・学校支援地域本部事業 ・学校評議員会 ・地域コーディネーター ・地域おこし協力隊 ・地域の事業所、福祉施設等 ◎家庭との協働 ○基本的な生活習慣の確立 ・ハッピーライフウィークでの連携 ・家庭でのメディアのルールづくり ○規範意識の確立 ・家庭内ルールの育成 ○豊かな人間性の育成 ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ ○学習支援 ・家庭学習のみとりと支援・確認	◎生きる力の基盤となる確かな学力の育成（知） ・知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養 ◎豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進（徳） ・善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成 ◎夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成（体） ・積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を支えるたくましい心と健康な身体の育成	◎小中一貫教育活動の推進 ・9年間を通した授業規律の徹底 ・9年間を通した家庭学習の確立 ・「わかる」を積み重ねる指導の工夫 ・課題の洗い出しと系統的な指導の充実 ・「知・徳・体」の3部門での連携 ・9年間の見通しをもった「良寛学習」 ・発達段階に応じた体験学習の設定 ・道徳教育、キャリア教育の充実 ・継続的な情報交換による生徒指導 ・積極的な交流活動 ・キャリアパスポートによる連携 ◎学力の向上に向けて ・共に伝え合い、学び合う場の設定 ・話し合い活動の計画的な設定 ・授業のUD化の推進 ・家庭学習指導の継続と連携



【出雲崎町がめざす学校教育の姿】 夢を育み、歴史・文化を大切に作る教育

※ 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指して「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現する

〔教育委員会関係役職員名簿〕



教育長

曾根 乗知



委員

(教育長職務代理者)

佐藤正志



委員

大磯多華子



委員

宮田 よしみ



委員

松岡 聡

(令和6年6月14日現在)

氏 名	職 名	任 期
曾 根 乗 知	教 育 長	令和6年 4月 2日～令和9年 4月 1日
佐 藤 正 志	教育長職務代理	令和3年10月18日～令和7年10月17日
大 磯 多 華 子	委 員	令和3年10月18日～令和7年10月17日
宮 田 よ し み	委 員	令和2年10月27日～令和6年10月26日
松 岡 聡	委 員	令和2年10月27日～令和6年10月26日

2 社会教育委員

氏 名	備 考
河 野 照 郎	学識経験者
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
佐 藤 登	出雲崎中学校長
山 田 直 樹	出雲崎小学校PTA会長
金 泉 清 子	学識経験者

4 図書館協議会委員

氏 名	備 考
佐 藤 登	出雲崎中学校長
中 澤 広 行	出雲崎小学校長
遠 藤 敬 子	出雲崎町婦人会長
高 桑 佳 子	学識経験者
金 泉 清 子	学識経験者
田 中 秀 和	学識経験者
遠 藤 枝 里 子	学識経験者

3 公民館運営審議会委員

氏 名	備 考
河 野 照 郎	学識経験者
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
中 澤 広 行	出雲崎小学校長
遠 藤 敬 子	出雲崎町婦人会長
田 口 哲 男	学識経験者
近 藤 佐 敏	学識経験者
田 中 秀 和	学識経験者

5 文化財調査審議会委員

氏 名	備 考
磯 部 友 記 雄	委員長
田 中 文 明	
田 中 宥 暢	
佐々木 高 史	
松 岡 聡	
磯 野 立 豊	
岩 田 統 子	
平 田 秀 治	

6 生涯学習推進委員会委員

氏 名	備 考
田 中 秀 和	公民館運営審議会委員
河 野 照 郎	社会教育委員長
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
中 澤 広 行	出雲崎小学校長
佐 藤 登	出雲崎中学校長
山 田 直 樹	出雲崎小学校PTA会長
遠 藤 敬 子	公民館運営審議会委員
丸 山 国 夫	体育協会会長
佐 藤 久 子	町商工会女性部常任委員
田 中 文 明	文化財調査審議会委員

7 スポーツ推進委員

氏 名	備 考
安 部 和 久	協議会長
丸 山 国 夫	
高 桑 佳 子	
小 林 裕 子	
佐 藤 万 里 子	
高 橋 真 結 子	
佐 藤 昭 人	
南 波 友 和	

8 スポーツ推進審議会委員

氏 名	備 考
安 部 和 久	委員長
丸 山 国 夫	
高 桑 佳 子	
小 林 裕 子	
佐 藤 万 里 子	
高 橋 真 結 子	
佐 藤 昭 人	
南 波 友 和	

9 青少年問題協議会委員 ◎会長

氏 名	備 考
◎仙 海 直 樹	出雲崎町長
山 田 正 志	副町長
高 桑 佳 子	町議会総務文教常任委員長
島 明 日 香	町議会社会産業常任委員長
寺 尾 勉	こども未来室長
佐 藤 正 志	教育長職務代理者
曾 根 乗 知	教育長・公民館長
河 野 照 郎	社会教育委員長
河 崎 政 則	民生委員児童委員協議会会長
磯 部 芳 江	長岡地区保護司会出雲崎分区長
岡 部 直 人	出雲崎駐在所
中 澤 広 行	出雲崎小学校長
佐 藤 登	出雲崎中学校長
真 島 徳 衛	出雲崎高等学校長
櫻 井 宣 雄	与板地区少年警察ボランティア連絡会
海 野 知 現	出雲崎こども園理事長
遠 藤 良 法	小木之城保育園理事長
坂 爪 ア キ 子	出雲崎更生保護女性会副会長

10 教育課職員

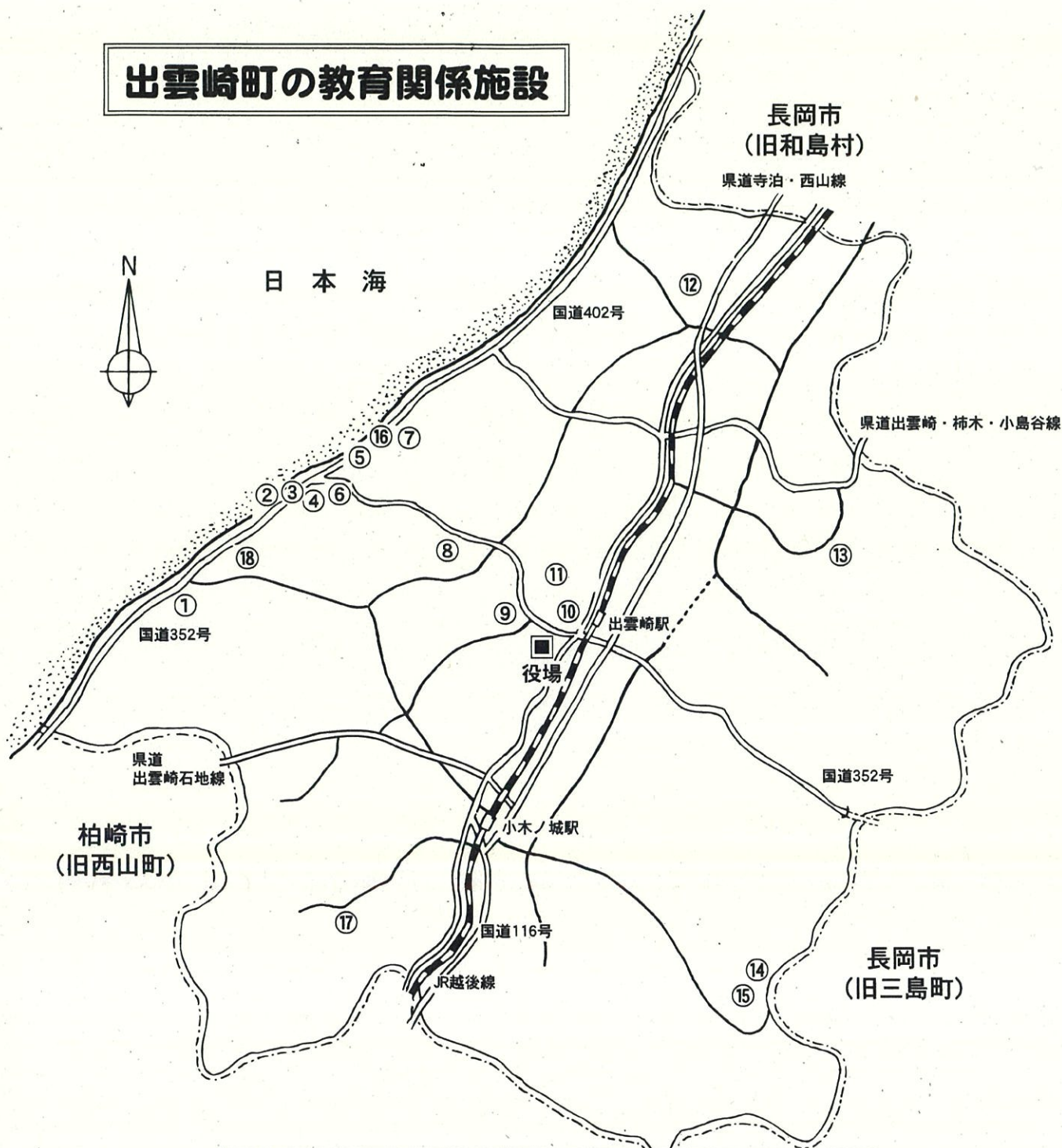
職 氏 名	主な担当
教 育 長 曾根 乗知	兼公民館長・図書館長
教育課長 吉岡 育子	総 括
主 幹 金泉 嘉昭	
課長補佐 高橋 聡 (学校教育係長兼務)	
社会教育係長 山崎 健太	社会教育
主 任 青木 建也	社会教育
主 事 細野 宏一朗	学校教育
主 事 遠藤 昌隆	社会教育
管理指導主事 近藤 道範	学校教育
巡回指導員 高梨 琢哉	小学校巡回指導
教育相談員 松崎 史欣	小中学校教育相談
事務職員 竹村 しのぶ	図書館・海岸公民館
事務職員 小川 真紀子	中央公民館・体育館
用 務 員 小林 秋子	中央公民館
用 務 員 柴田 圭一	町民体育館
事務職員 高橋 美奈	
運転員 吉田 正勝	
良寛記念館 館 長 永寶 卓	良寛記念館の総括
事務職員 小黒 晴美	受付事務、施設管理
事務職員 大久保 淳子	受付事務、販売

社会教育・文化・体育関係団体

団体名	代表者名
町教育研究会	佐 藤 登
町PTA連絡協議会 (加盟団体)	山 田 直 樹 出雲崎小PTA (山田直樹) 出雲崎中PTA (松永佐和子)
出雲崎妻入りの街並景観推進協議会	村 越 隆 夫
町婦人会	遠 藤 敬 子
越後出雲崎街並活性研究会	磯 部 友 記 雄
妻入りの会	遠 藤 達 実
みなとまち町家の会	小 林 等
青少年育成出雲崎町民会議	佐 藤 正 志
良寛記念館応援倶楽部 てまりの会	佐 藤 亨
町公民館文化サークル協 議会 (加盟団体)	近 藤 佐 敏 書道 (服部美知子) ガーデニング (佐藤 敏) 英会話 (近藤 佐敏)
滝谷薬師保存会	内 藤 喜 四 郎
小木城跡史跡保存会	安 達 一 雄
出雲崎代官所獄門跡保存会	加 藤 修 三
孝婦ゆりの碑保存会	佐 藤 昭 四 郎
町体育協会 (加盟団体)	丸 山 国 夫 野球協会 (竹村龍彦) バドミントン協会 (安達 弘) ゲートボール協会 (日山正雄) 出雲崎スカイヤーズ (有馬正人) 卓球クラブ (加藤建夫) 出雲崎ランニングクラブ (赤澤和晃) 出雲崎町インディアナクラブ (大谷勇太) 出雲崎サッカースクール (荒木啓之) 出雲崎グランドゴルフ協会 (佐藤 勲)
町地域部活動活動団体	出雲崎ベースボールクラブ (佐藤昭人) 出雲崎卓球クラブ地域部活動 (小林栄一) 出雲崎バレーボールクラブ (佐々木竜哉) 出雲崎音楽広場 (南波久敏)

団体名	代表者名
出雲崎おけさ保存会	田 中 政 孝
秀和会 (民謡)	小 林 等
小木ノ城地区振興会	佐 藤 昭 人
渚会 (俳句)	小 黒 淳
西の越句会	仲 野 隆 之
出雲崎町良寛景慕会	廣 橋 正 房
史談会	磯 部 友 記 雄
お船歌保存会	鈴 木 武 美

出雲崎町の教育関係施設



凡例

- | | | |
|--------------------------------|----------------------|---------------------------|
| ① 代官所跡 | ⑧ 文化・スポーツ
ふれあいの広場 | ⑩ 出雲崎小学校 |
| ② 天領の里
(石油記念館公園) | ・中央公民館 | ⑪ 県立出雲崎高校 |
| ③ 北国街道妻入り会館 | ・町民体育館 | ⑫ 赤坂山古戦場 |
| ④ 芭蕉園 | ・町民野球場 | ⑬ 木造薬師如来坐像・鰯口
(県指定文化財) |
| ⑤ 良寛堂
良寛生誕の地橋屋跡
(県指定文化財) | ・多目的運動場 | ⑭ 小木ノ城跡 |
| ⑥ 良寛記念館
(国登録有形文化財) | ・町民プール | ⑮ 小木ノ城山の樹叢
(県指定文化財) |
| ⑦ 海岸公民館
(町立図書館) | ・屋内ゲートボール場 | ⑯ 割烹みよや
(国登録有形文化財) |
| | ・柔道場 | ⑰ 季節宿 國安
(国登録有形文化財) |
| | 多世代交流館きらり | ⑱ 孝婦ゆりの碑 |
| | ⑨ 出雲崎中学校 | |



生涯学習マスコットキャラクター
マナボー いずもくん